

光駅周辺地区拠点整備基本構想の策定に向けた

# 「市民アンケート調査」

## 結果報告書

平成30年3月

光 市

# — 目 次 —

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	配布・回収状況	1
6	調査項目	
<b>II</b>	<b>調査結果（単純集計）</b>	<b>2</b>
1	あなた（回答者）ご自身について	2
2	光駅周辺エリアの利用状況について	6
3	光駅周辺エリアの現状について	9
4	光駅周辺エリアの今後（将来像）について	14
5	おわりに	16
<b>III</b>	<b>調査結果（クロス集計）ピックアップ!</b>	<b>19</b>
1	テーマ1：どんな人が何の目的で訪れるか？	19
2	テーマ2：利用しないのはなぜか？	22
3	テーマ3：今後必要な都市機能は何か？	24
4	テーマ4：将来どんな姿になることを望むか？	26
<b>IV</b>	<b>調査票</b>	<b>28</b>
1	アンケート調査依頼状、調査票	28
<b>V</b>	<b>資料編</b>	<b>35</b>
1	その他のクロス集計結果（Ⅲ以外）	35

# I 調査の概要

## 1 調査目的

市では、本市の玄関口である光駅周辺地区（以下、「本地区」といいます。）を、いっそう便利で魅力あふれる空間とするため、平成 29・30 年度の 2 箇年で、拠点整備の方向性や全体像を明らかにする「光駅周辺地区拠点整備基本構想」（以下、「構想」といいます。）を策定しています。

本アンケートは、構想の策定にあたり、市民の利用状況や将来に向けた意向等を把握し、拠点整備のあり方を検討する基礎資料とするために実施したものです。

## 2 調査対象

無作為抽出による 16 歳以上の市民 2,000 人

## 3 調査方法

郵送配布、返信用封筒による回収

## 4 調査期間

平成 29 年 8 月 1 日（火）から 14 日（月）まで

## 5 配布・回収状況

配布数	有効配布数	回収数	回収率
2,000	1,994	879	44.1%

## 6 調査項目

- 1 あなた（回答者）ご自身について
- 2 光駅周辺エリアの利用状況について
- 3 光駅周辺エリアの現状について
- 4 光駅周辺エリアの今後（将来像）について
- 5 おわりに

※ 図表中の「N」は全体、「n」は個別の回答数を表しています。

※ 「回答が不明」、「1つを選ぶ質問に複数回答」などの無効票については、集計に含めていません。（「N、n」から除外しています。）

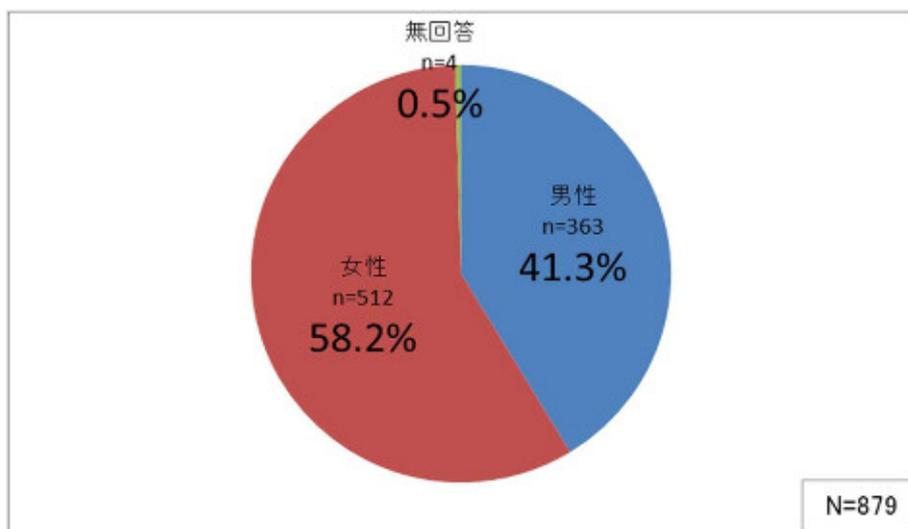
※ 本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等と合計欄等の数値とが必ずしも一致していません。

## Ⅱ 調査結果（単純集計）

### 1 あなた（回答者）ご自身について

#### (1) 性別 **問 1**

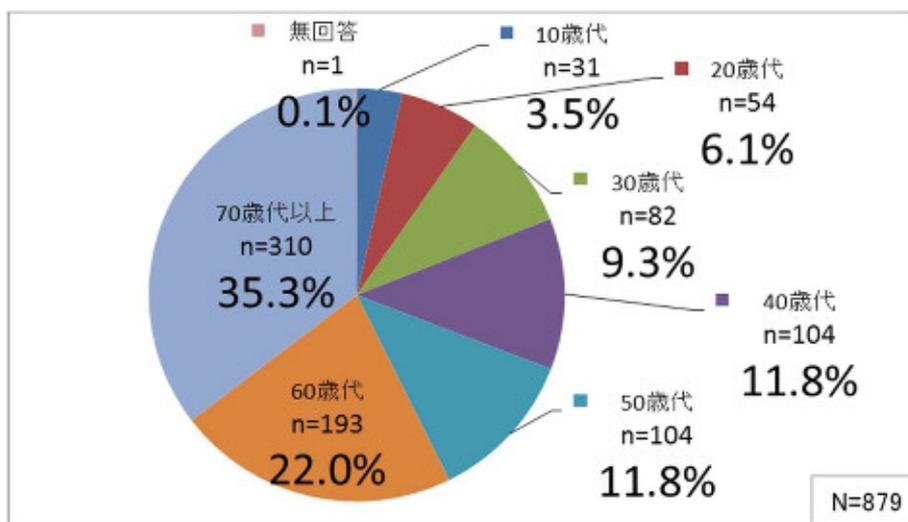
男性が 41.3%、女性が 58.2% で女性がやや多くなっています。



#### (2) 年齢 **問 2**

70 歳代以上が 35.3% と最も多く、次いで 60 歳代 (22.0%)、40・50 歳代 (共に 11.8%) の順に多くなっています。

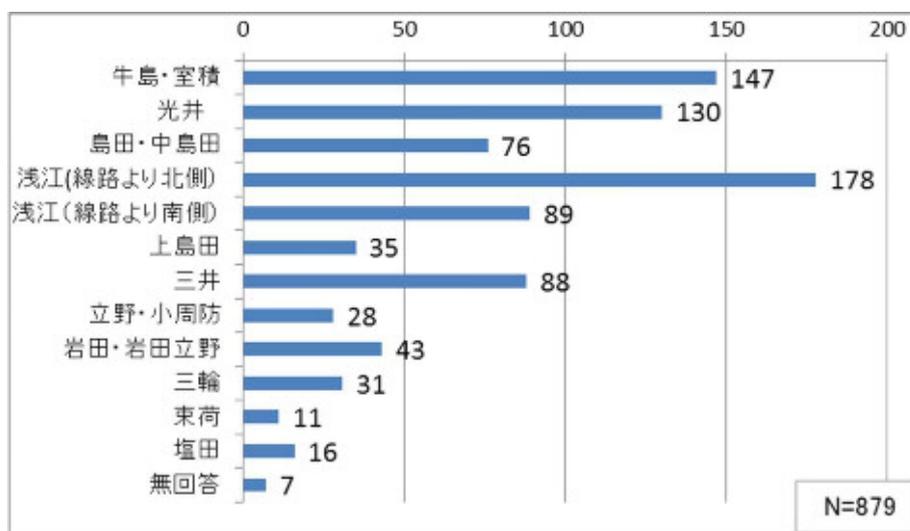
一方、30 歳代は 9.3%、20 歳代は 6.1%、10 歳代は 3.5% と、若い世代になるほど回答数が少なくなっています。



### (3) 居住地区 問 3

本地区がある「浅江（線路より北側）（178人）」及び「浅江（線路より南側）（89人）」が全体の約3割を占めています。

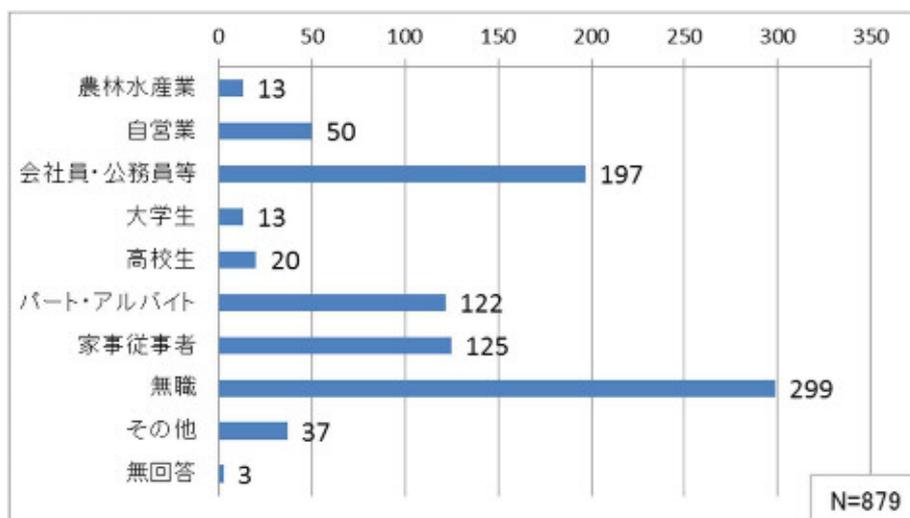
また、「牛島・室積（147人）」や「光井（130人）」の回答者も多くなっています。



### (4) 職業 問 4

「無職（299人）」が最も多く、次いで「会社員・公務員等（197人）」、「家事従事者（125人）」、「パート・アルバイト（122人）」の順に多くなっています。

なお、「無職」が多い理由は、60歳代以上の回答者数が多いことが影響していると考えられます。



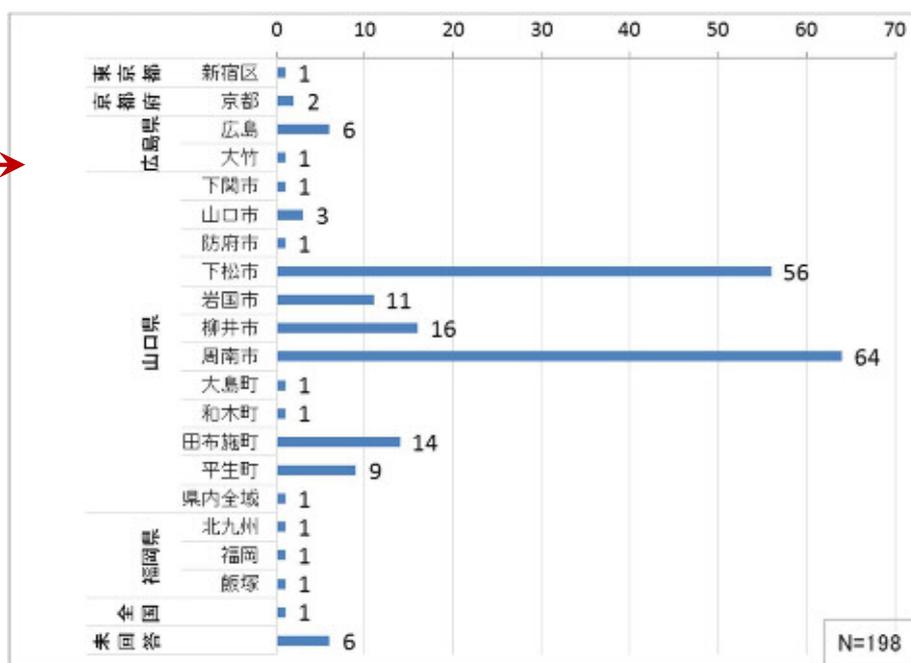
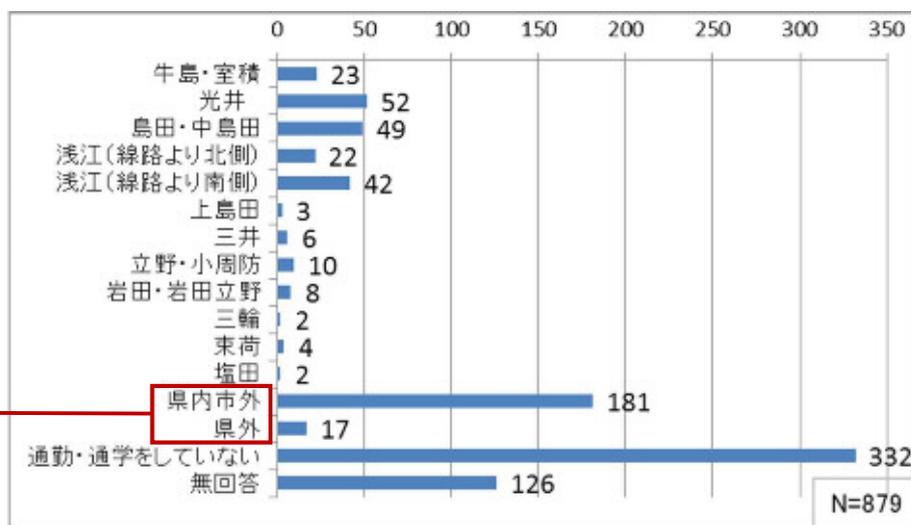
(5) 通勤・通学先 **問5**

「通勤・通学をしていない (332 人)」が最も多く、次いで「県内市外 (181 人)」が多くなっています。「県内市外」の内訳は、同じ周南圏域である「周南市 (64 人)」や「下松市 (56 人)」が多くなっています。

また市内では、「光井 (52 人)」、「島田・中島田 (49 人)」、「浅江 (線路より南側) (42 人)」が多くなっており、当該地区に大規模な工場など働く場が多く立地していることが大きな理由と考えられます。

なお、「通勤・通学をしていない」が多い理由は、問4と同じく60歳以上の回答者数が多いことが影響しているといえます。

内訳

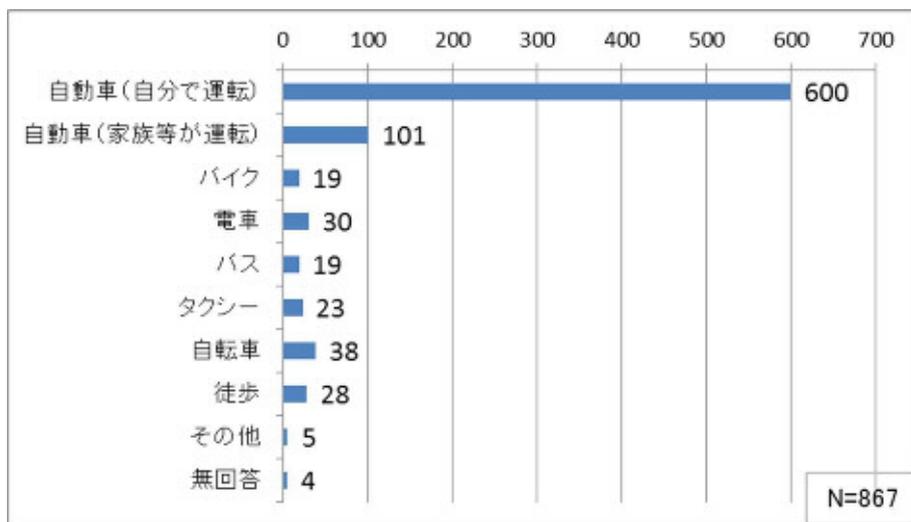


(6) 日常交通手段 **問 6**

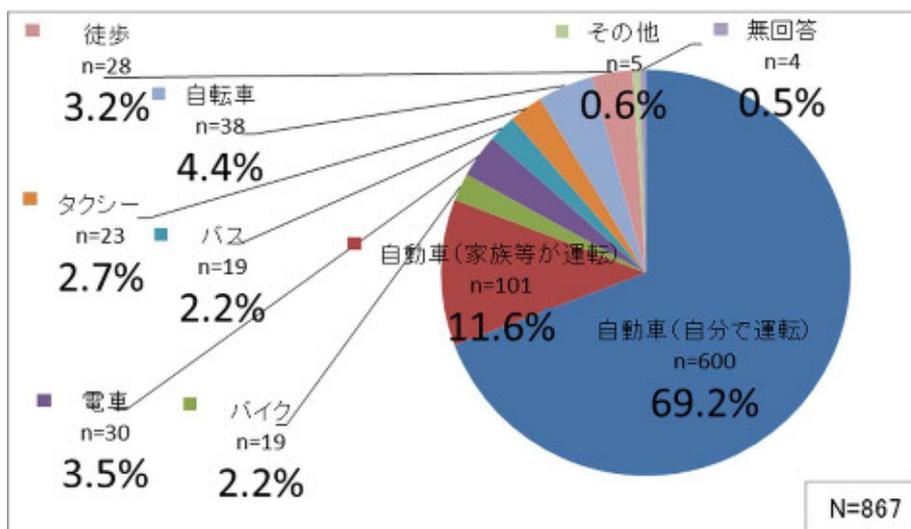
「自動車（自分で運転）（600人、69.2%）」が突出して多く、「自動車（家族等が運転）（101人、11.6%）」と合わせると、自動車を使用する人が全体の約8割を占めています。

また、自動車以外では「自転車（38人、4.4%）」、「電車（30人、3.5%）」、「徒歩（28人、3.2%）」の順に多くなっています。

一方、公共交通は、「電車」、「タクシー（23人、2.7%）」、「バス（19人、2.2%）」の順となっており、全体的に低い水準となっています。



※無効票：12

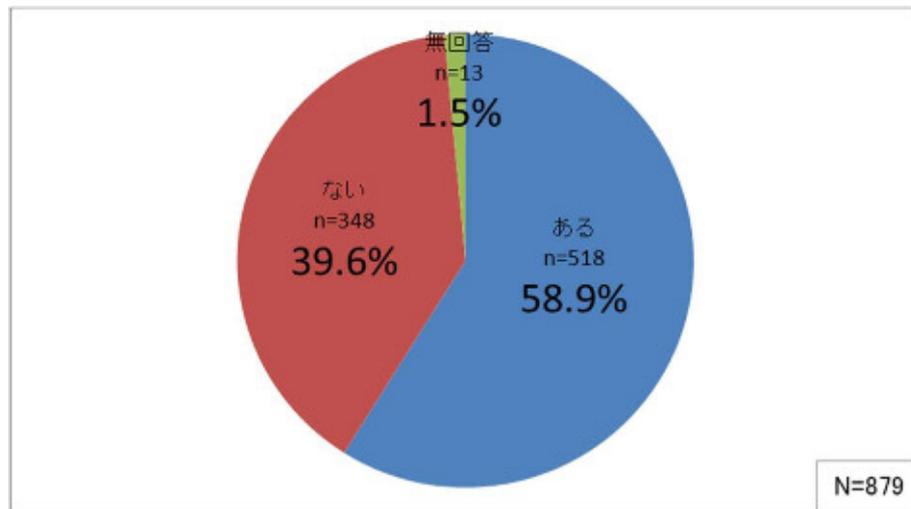


※無効票：12

## 2 光駅周辺エリアの利用状況について

### (1) 本地区への来訪状況 **問7**

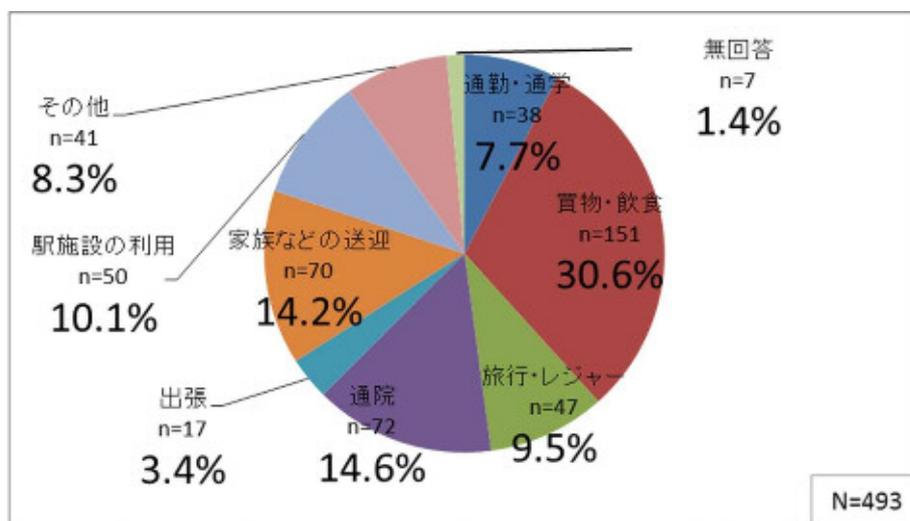
日常生活において本地区への来訪が「ある」と回答した人は、全体の約6割となっています。



### (2) 本地区への来訪目的 **問8** (問7で「ある」と回答した人のみ)

「買物・飲食 (151人、30.6%)」が最も多く、次いで「通院 (72人、14.6%)」、「家族などの送迎 (70人、14.2%)」、「駅施設の利用 (50人、10.1%)」の順に多くなっています。

なお、「その他」の主な回答として、「近隣の都市機能 (金融機関など) の利用」や「家族・友人・同僚に会いに行く」、「散策・散歩」などが挙げられました。



※無効票：25

### (3) 平日と休日の利用比較 **問9** (問7で「ある」と回答した人のみ)

問8の目的で本地区を利用する場合、「平日」の方が多いと回答した人が全体の約6割となっており、主に「休日」よりも「平日」によく利用される地区であることがうかがえます。



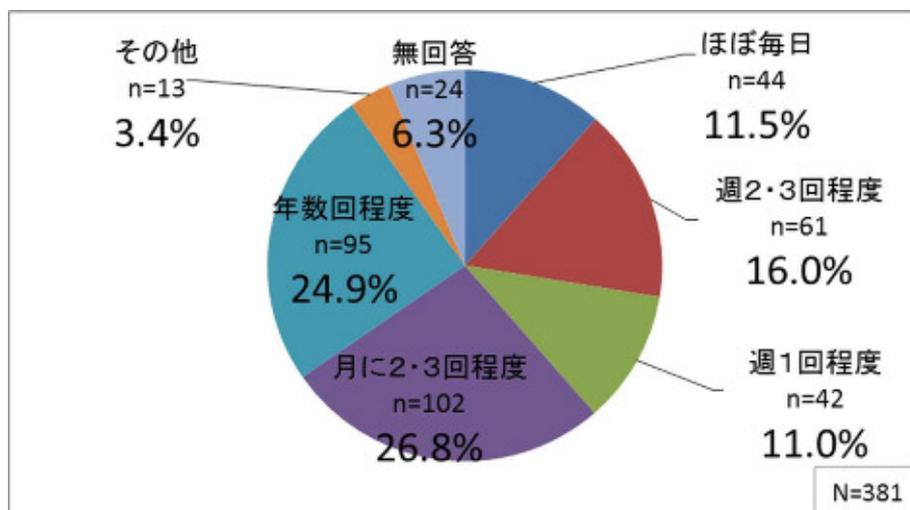
※無効票: 32

### (4) 平日の利用頻度 **問10**

(問7で「ある」、問9で「平日」又は「同じくらい」と回答した人のみ)

「月に2・3回程度 (102人、26.8%)」や「年数回程度 (95人、24.9%)」が多くなっており、利用頻度の低い人が半数以上を占めています。

一方、「週2・3回程度 (61人、16.0%)」や、「ほぼ毎日 (44人、11.5%)」、「週1回程度 (42人、11.0%)」は低い水準となっており、利用頻度の高い人はあまり多くない状況にあります。



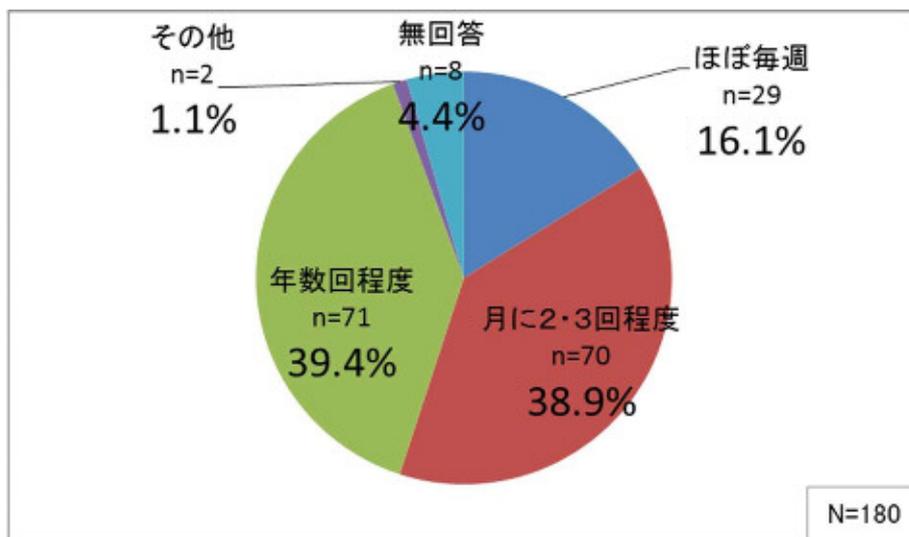
※無効票: 1

(5) 休日の利用頻度 **問 11**

(問7で「ある」、問9で「休日」又は「同じくらい」と回答した人のみ)

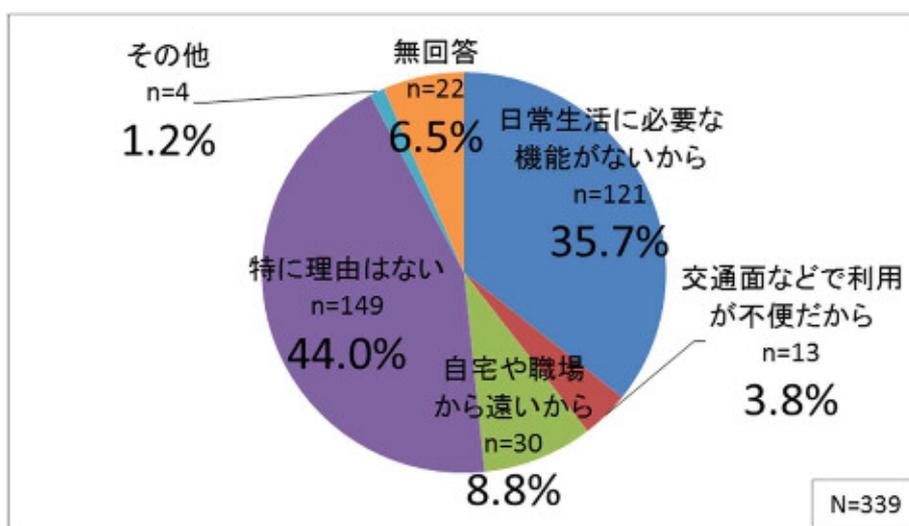
「年数回程度 (71人、39.4%)」や「月に2・3回程度 (70人、38.9%)」が多くなっており、利用頻度の低い人が約8割を占めています。

一方、「ほぼ毎週 (29人、16.1%)」と回答した利用頻度の高い人は、低い水準となっています。



(6) 本地区を利用しない理由 **問 12** (問7で「ない」と回答した人のみ)

「特に理由はない (利用する必要がないなど) (149人、44.0%)」が最も多く、次いで「日常生活に必要な機能がないから (121人、35.7%)」が多くなっており、地区には日常生活に求められる機能が少なく、『用がないから行かない』人が多いことがうかがえます。



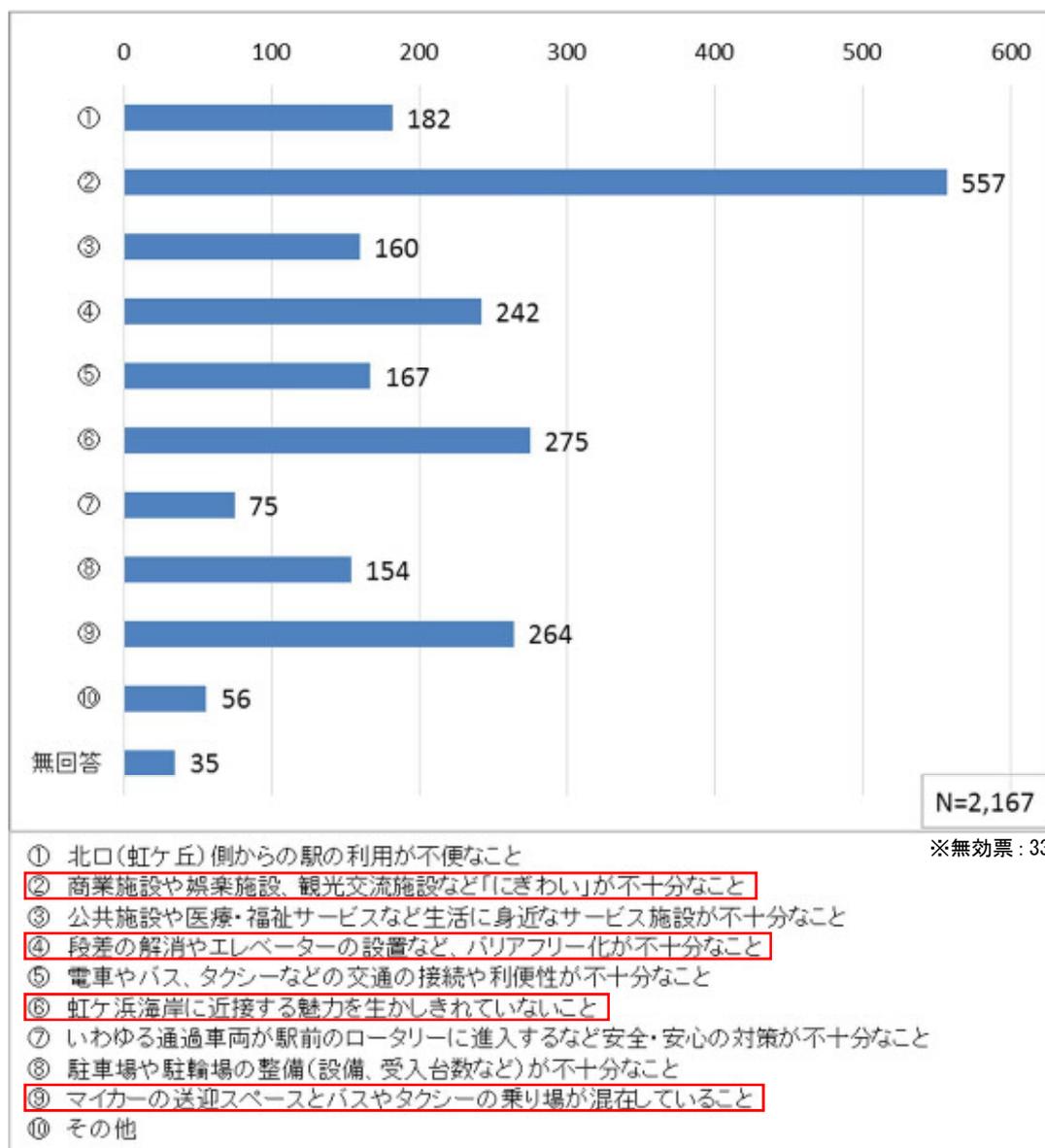
※無効票：9

### 3 光駅周辺エリアの現状について

#### (1) 本地区の問題点 **問 13** (3つまでの複数回答)

「②商業施設や娯楽施設、観光交流施設など『にぎわい』が不十分なこと (557 票)」が突出して多く、次いで「⑥虹ヶ浜海岸に近接する魅力を生かしきれていないこと (275 票)」、「⑨マイカーの送迎スペースとバスやタクシーの乗り場が混在していること (264 票)」、「④段差の解消やエレベーターの設置など、バリアフリー化が不十分なこと (242 票)」の順に多くなっています。

一方、「⑦いわゆる通過車両が駅前のロータリーに進入するなど安全・安心の対策が不十分なこと (75 票)」は比較的低い水準となっています。



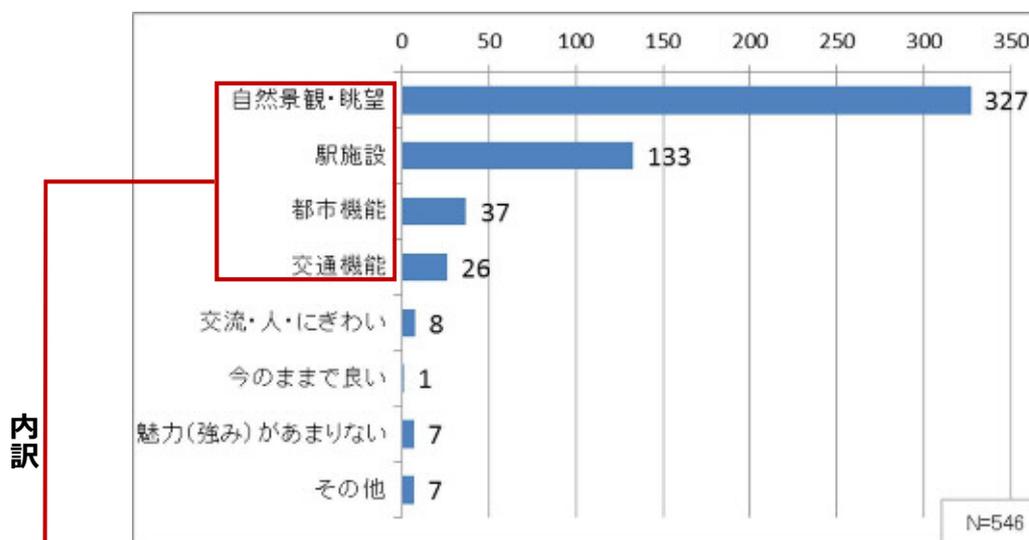
(2) 本地区の優れているところや魅力(強み) **問 14** (自由記述)

533 人から 546 件の回答をいただきました。

「自然景観・眺望 (327 票)」に関する回答が最も多く、次いで「駅施設 (133 票)」、  
「都市機能 (37 票)」、「交通機能 (26 票)」に関する回答が比較的多くなっています。

※分野ごとの分類表

分類	主な内容
自然景観・眺望	虹ヶ浜や松林などの自然環境、眺望、衛生環境など
駅施設	駅の構造、構内施設、待合施設、ロータリー、駐車場、南北の連絡構造など
都市機能	医療機能、商業機能、公共施設など
交通機能	公共交通、アクセス性など
交流・人・にぎわい	拠点性、利用者の混雑の程度など
その他	上記以外の内容



※ 「特になし」のように、“魅力(強み)がない”のか“意見がない(=無回答と同義)”のか判断できないものや、「弱み」を回答しているなど、本設問と意図が異なる回答は集計から除外しています。

**回答の内訳 (上位4つ)**

**【自然景観・眺望】**

- 「海と駅が近接」していることに関する回答が 215 票と【自然景観・眺望】全体の多くを占めており、さらに、「虹ヶ浜を有する (41 票)」と合わせると、“虹ヶ浜”に関する回答が全体の約 8 割を占めています。
- この他にも、「自然景観、環境が良好・綺麗 (30 票)」、「自然が豊富 (17 票)」といった自然環境や美しい都市環境に関する回答が比較的多くなっています。

### 【駅施設】

- 自動車の駐車場に関する回答が上位を占めており、「駐車料金が安価であること（36票）」や「駐車場が広い（23票）」などの回答が多くなっています。
- このほか、「有人駅である（10票）」、「広々としていて安全・快適（7票）」といった回答も比較的多くなっています。

### 【都市機能】

- 「医療施設がある」や「商業施設がある」、「コンビニがある」がそれぞれ7票で最も多く、次いで「交番（安全・安心）がある（6票）」が多くなっています。
- このほか、「道路機能が良好（5票）」が比較的多く、内容として、“海岸までまっすぐな道路が良い”、“歩道・道幅が広い”といった意見が挙げられました。

### 【交通機能】

- 「交通の便が良い（11票）」が最も多く、内容として、“国道188号から駅へのアクセスがしやすい”といった意見が挙げられました。

#### <主な意見の分類と件数>

意見内容	意見件数
<b>自然景観・眺望</b>	
海と駅が近接	215
虹ヶ浜を有する	41
自然景観、環境が良好・綺麗	30
自然が豊富	17
混雑が少ない・静か	9
花火大会がある	7
<b>駅施設</b>	
駐車料金が安価	36
駐車場が広い	23
駐車場が充実	16
駐車場がある	11
有人駅である	10
駅と駐車場が近接	7
広々としていて安全・快適	7
ロータリーが綺麗	5
施設が綺麗・良好	5
<b>都市機能</b>	
医療施設がある	7
商業施設がある	7
コンビニがある	7
交番（安全・安心）がある	6
道路機能が良好	5
<b>交通機能</b>	
交通の便が良い	11
交通面で混雑が少ない・静か	6
タクシー乗り場がある	5
<b>交流・人・にぎわい</b>	
混雑が少ない・静か	3

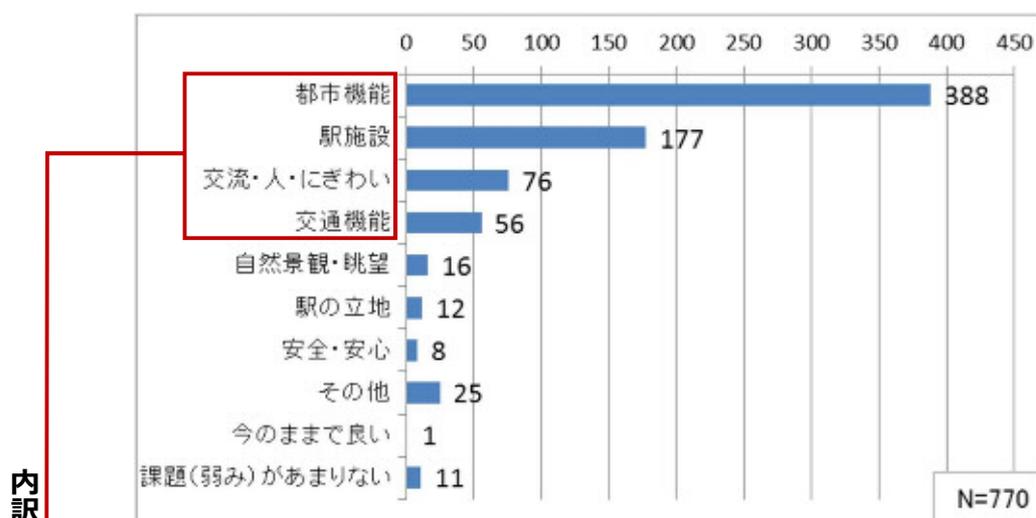
(3) 本地区の劣っているところや課題（弱み） **問 15** (自由記述)

598 人から 770 件の回答をいただきました。

「都市機能 (388 票)」に関する回答が最も多く、次いで「駅施設 (177 票)」、「交流・人・にぎわい (76 票)」、「交通機能 (56 票)」に関する回答が比較的多くなっています。

※分野ごとの分類表

分類	主な内容
都市機能	医療機能、商業機能、公共施設など
駅施設	駅の構造、構内施設、待合施設、ロータリー、駐車場、南北の連絡構造など
交通機能	公共交通、アクセス性など
交流・人・にぎわい	拠点性、利用者の混雑の程度など
自然景観・眺望	虹ヶ浜や松林などの自然環境、眺望、衛生環境など
駅の立地	駅の立地など
安全・安心	治安、防犯、防災など
その他	上記以外の内容



※ 「特になし」のように、“課題（弱み）がない”のか“意見がない（=無回答と同義）”のか判断できないものや、「強み」を回答しているなど、本設問と意図が異なる回答は集計から除外しています。

内訳

回答の内訳 (上位4つ)

【都市機能】

- 「商業施設が不足している」を挙げる回答が 127 票と最も多く、次いで「飲食店が不足している (57 票)」、「来訪目的となる施設・企画がない (25 票)」、「構内店舗がない (24 票)」、「娯楽施設が不足している (21 票)」が比較的多くなっています。

## 【駅施設】

- 「バリアフリーが確保できていない（36票）」が最も多く、次いで「トイレの設備・管理が不十分（27票）」が多くなっています。
- 自動車の駐車場に関する意見は様々あり、中でも「送迎用駐車場がない（16票）」や「駐車場が不足している（12票）」が多くなっています。

## 【交流・人・にぎわい】

- 「閑散としている・にぎわいがない（49票）」が最も多くを占めています。
- このほか、「にぎわいを生む施設・企画がない」、「情報発信が不足している」といった回答が比較的が多くなっています。

## 【交通機能】

- 「交通の便が悪い（9票）」、「バスの運行便数が少ない（9票）」、「公共交通の接続性が悪い（8票）」が多くなっており、いずれも“公共交通”に関するものが上位を占めています。
- このほか、「渋滞・混雑が発生している（5票）」といった自動車の交通状況に関する意見も比較的が多くなっています。

### <主な意見の分類と件数>

意見内容	意見件数	意見内容	意見件数
<b>都市機能</b>		<b>交通機能</b>	
商業施設が不足している	127	交通の便が悪い	9
飲食店が不足している	57	バスの運行便数が少ない	9
来訪目的となる施設・企画がない	25	公共交通の接続性が悪い	8
構内店舗がない	24	渋滞・混雑が発生している	5
娯楽施設が不足している	21	<b>自然景観・眺望</b>	
都市機能が不足している	14	清潔感がない	4
集客施設が不足している	10	空き家・古家が景観を損ねている	3
大型商業施設が不足している	6	<b>駅の立地</b>	
商店街が充実していない	5	駅が市の中心部から離れている	7
<b>駅施設</b>		<b>安全・安心</b>	
バリアフリーが確保できていない	36	駅周辺が暗い	5
トイレの設備・管理が不十分	27		
送迎用駐車場がない	16		
駐車場が不足している	12		
駅舎が老朽化している	9		
休憩所・待合施設が充実していない	9		
北口からの利便性が低い	7		
駅のイメージが暗い	6		
清潔感がない	5		
駐車場と駅が遠い	5		
<b>交流・人・にぎわい</b>			
閑散としている・賑わいがない	49		
にぎわいを生む施設・企画がない	10		
情報発信が不足している	7		
人が集まる場所がない	6		

## 4 光駅周辺エリアの今後（将来像）について

### (1) 本地区に今後必要と思う機能について **問 16** (3つまでの複数回答)

#### 【総得票数からみた集計】

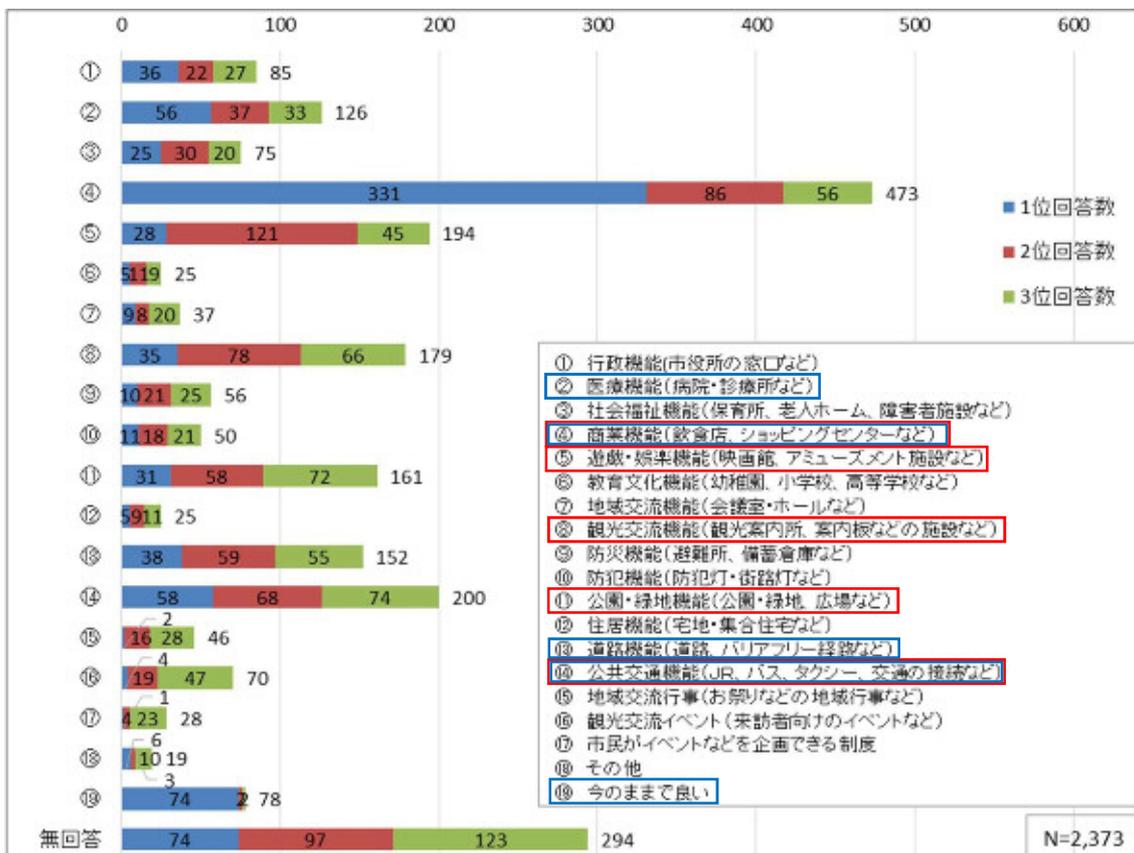
「④商業機能 (473 票)」が突出して多く、次いで「⑭公共交通機能 (200 票)」、「⑤遊戯・娯楽機能 (194 票)」、「⑧観光交流機能 (179 票)」、「⑪公園・緑地機能 (161 票)」の順に多くなっています。

一方、「⑱その他 (19 票)」を除くと、「⑥教育文化機能 (25 票)」、「⑫住居機能 (25 票)」は得票数が少なくなっていますが、これは、学校などが既に近隣に立地していることや、虹ヶ丘団地が既に整備されていることが影響していると考えられます。

#### 【1位回答数からみた集計】

総得票数と同様に、「④商業機能 (331 票)」が突出して多く、次いで「⑲今のままで良い (74 票)」、「⑭公共交通機能 (58 票)」、「②医療機能 (56 票)」、「⑬道路機能 (38 票)」の順に多くなっています。

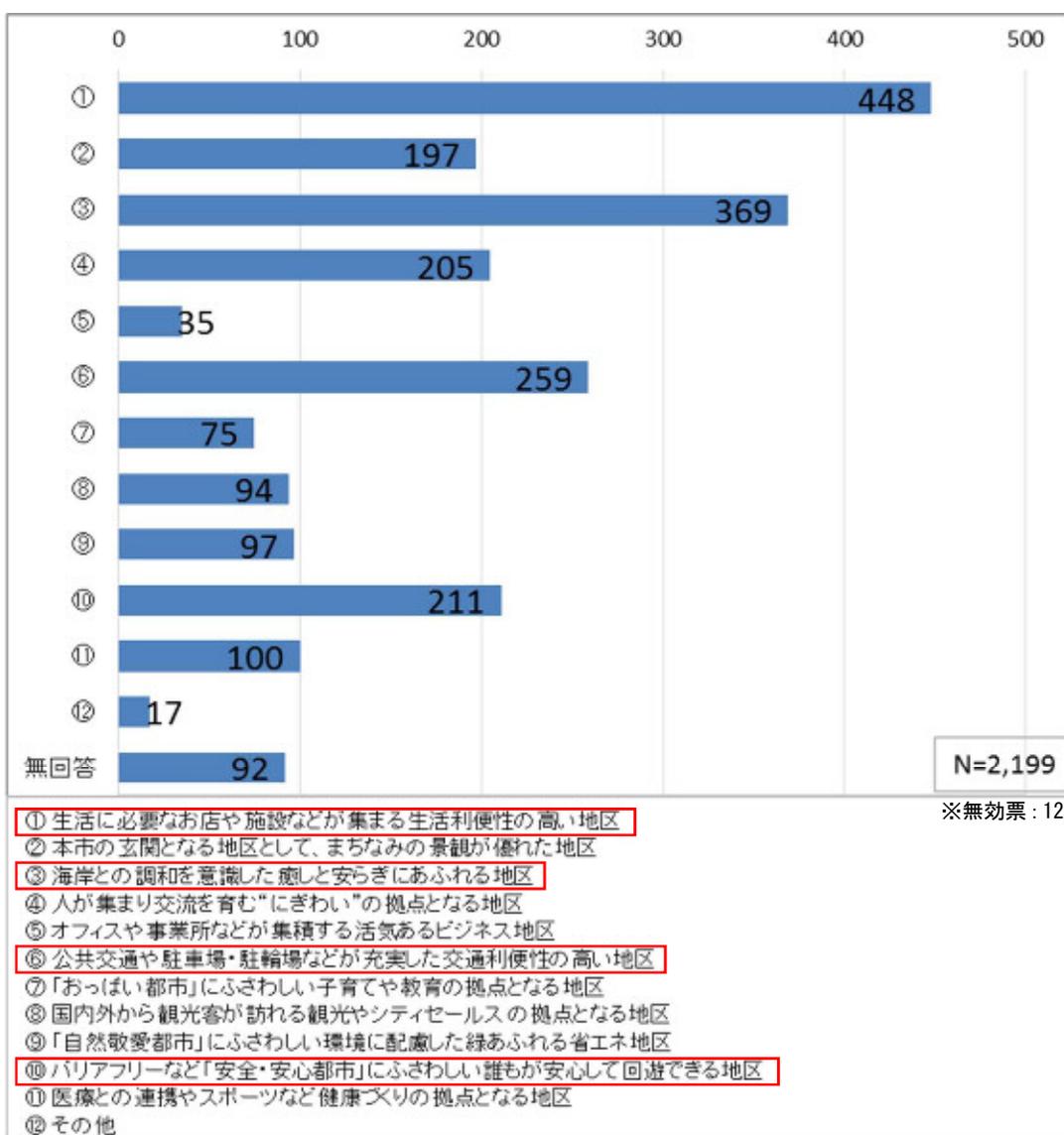
順位	総得票数	1位回答数
1位	④商業機能	④商業機能
2位	⑭公共交通機能	⑲今のままで良い
3位	⑤遊戯・娯楽機能	⑭公共交通機能
4位	⑧観光交流機能	②医療機能
5位	⑪公園・緑地機能	⑬道路機能



(2) 本地区に望む将来の姿について **問 17**

「①生活に必要なお店や施設などが集まる生活利便性の高い地区 (448 票)」が最も多く、次いで「③海岸との調和を意識した癒しと安らぎにあふれる地区 (369 票)」、  
「⑥公共交通や駐車場・駐輪場などが充実した交通利便性の高い地区 (259 票)」、「⑩  
バリアフリーなど『安全・安心都市』にふさわしい誰もが安心して回遊できる地区 (211  
票)」の順に多くなっています。

このほかにも、「④人が集まり交流を育む“にぎわい”の拠点となる地区 (205 票)」  
や「②本市の玄関となる地区として、まちなみの景観が優れた地区 (197 票)」も比較  
的多くなっています。

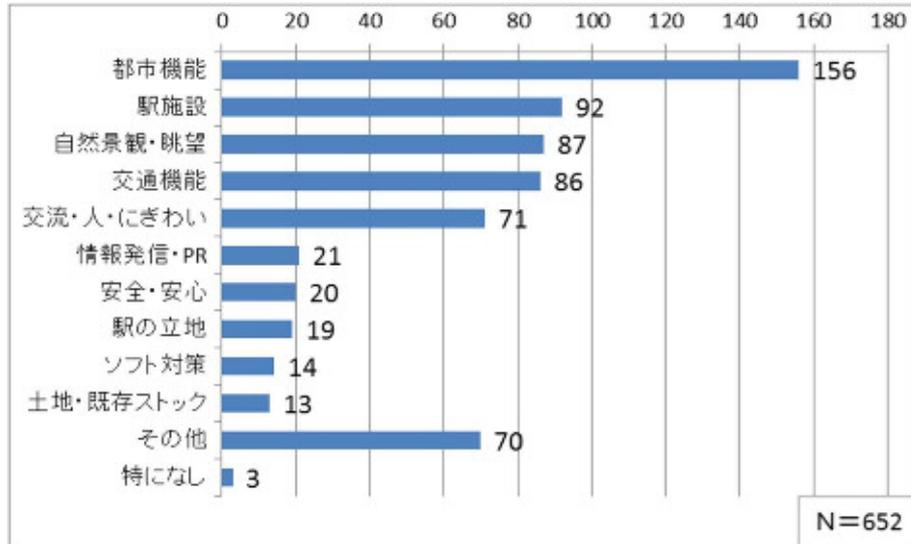


## 5 おわりに

光駅周辺のまちづくりに対するご意見・ご要望について **問 18** (自由記述)

359 人の方から 652 件の回答をいただきました。

「都市機能 (156 票)」に関する回答が最も多く、次いで「駅施設 (92 票)」、「自然景観・眺望 (87 票)」、「交通機能 (86 票)」、「交流・人・にぎわい (71 票)」に関する回答が比較的多くなっています。



※分野ごとの分類表

分類	主な内容
都市機能	医療機能、商業機能、公共施設など
駅施設	駅の構造、構内施設、待合施設、ロータリー、駐車場、南北の連絡構造など
自然景観・眺望	虹ヶ浜や松林などの自然環境、眺望、衛生環境など
交通機能	公共交通、アクセス性など
交流・人・にぎわい	拠点性、利用者の混雑の程度など
情報発信・PR	広報、PRなど
安全・安心	治安、防犯、防災など
駅の立地	駅の立地など
ソフト対策	イベント企画など
土地・既存ストック	土地利用、空き家など
その他	上記以外の内容

### 【都市機能に関する主な意見】

- ・ 買物のできる商業施設を誘致・整備して利便性・賑わいの向上を望む
- ・ 飲食店や居酒屋を誘致・整備してほしい (若者のチャレンジを支援)
- ・ 行政機能を配置 (市役所出張所など) してほしい
- ・ 駅を拠点として商業・医療・娯楽のすべてを満たすまちづくりをしてほしい
- ・ 駅周辺は施設の利便性は求めず、自然景観にマッチしたまちづくりをしてほしい

- ・自然を活かすか、都市化を進めるかはよく考える必要がある
- ・周南市や下松市と同じような整備では魅力がないため、差別化を図るべき
- ・年間を通じて集客を図る施設が必要
- ・民間主導の整備を望む
- ・若者を呼び込むため、他地方にない施設を考えては（スケートボード施設など）

#### 【駅施設に関する主な意見】

- ・構内、跨線橋などのバリアフリー化を望む
- ・構内の待合環境を向上（冷暖房）させてほしい
- ・待合時間中に入れる飲食店やお土産屋などの構内店舗の充実を
- ・トイレや授乳室などの設備を充実してほしい
- ・北口からのアクセスを改善してほしい
- ・（ロータリーの）送迎車の車列が危険である
- ・駐車場の管理体制を改善してほしい（夜間の出入自由が問題）

#### 【交流・人・にぎわいに関する主な意見】

- ・大型商業施設など、人が集まるような整備が必要
- ・駅周辺にさびしさを感じるため、人が集まって活気が出るようにしてほしい
- ・「自然」と「にぎわい」が調和したまちにほしい
- ・公共スポーツ施設を有効活用し、合宿などのスポーツ交流を促進しては

#### 【交通機能に関する主な意見】

- ・虹ヶ丘から国道 188 号へのアクセス道（瀬戸風線）を早期に整備してほしい
- ・駅前の渋滞対策を望む
- ・歩道の整備など、安全対策を進めてほしい
- ・虹ヶ浜沿いにサイクリングロードや遊歩道を整備してほしい
- ・バスを小型化して、運行範囲を広げてほしい（島田、室積方面も充実してほしい）
- ・JR、バスの運行便数を増加してほしい
- ・北口の公共交通機能を充実してほしい（タクシー乗り場など）
- ・高齢になり、運転ができなくなっても移動できる交通網を整備してほしい

#### 【自然景観・眺望に関する主な意見】

- ・虹ヶ浜を活用して年間を通じた集客を（スポーツ・レジャー施設や体験）
- ・虹ヶ浜海岸の景観を活かしたまちづくりが必要
- ・自然を大切にのんびりとすごせる空間にほしい

- ・自然が豊富で、住みやすいところだと思う。自然を残してほしい
- ・駅から虹ヶ浜までの通りの景観整備をしてほしい
- ・自然を活かすか、都市化を進めるかはよく考える必要がある（再掲）

**【安全・安心に関する主な意見】** ※施設のバリアフリーに関する内容は【駅施設】として整理

- ・駅周辺が暗く、不安を感じる
- ・防災対策を充実してほしい、街路灯を整備（増加）してほしい
- ・歩道の整備など、安全対策を進めてほしい（再掲）
- ・駅前には多様な交通形態が集中しているため、事故が起きないように対策を

**【情報発信・PRに関する主な意見】**

- ・虹ヶ浜を活かして、海があるまちとして魅力発信できないか
- ・駅から海まで歩いていけることをPRすべき
- ・情報発信のため、光市をどのようにPRするか、イメージを検討する必要がある

**【駅の立地に関する主な意見】**

- ・光駅は光市の西端に位置しており、都市機能の集積は難しいのではないか
- ・人口を集積させることで賑わいを創出してはどうか

**【土地・既存ストックに関する主な意見】**

- ・光総合病院跡地の有効活用を（例えば、駐車場、防災施設、学習施設など）
- ・駅から近い場所に学生（部活など）が利用しやすいスポーツ交流施設を

**【ソフト対策に関する主な意見】**

- ・海岸を活かしたレジャー体験や花火大会などのイベントを実施してはどうか
- ・全国・全県規模のイベントを開催してはどうか
- ・虹ヶ浜通りを公園道路として、イベント時は歩行者専用にしてはどうか
- ・フリーマーケットや雑貨販売などのイベントを実施してはどうか
- ・イベント運営などは若い世代を起用してほしい

**【その他の主な意見】**

- ・光駅だけではなく、市全体でどのような目標をもって発展させるかが重要
- ・年配の方、子育て世代の方にとっても住みやすいまちを望む
- ・非日常を味わえる場所作りを目指した方が良い
- ・まちづくりには子どもの意見も取り入れてほしい

### Ⅲ 調査結果（クロス集計）ピックアップ!

ここでは、以下の4つのテーマに関係が深い設問をピックアップし、それらのクロス集計結果のうち特徴が表れているものを抜粋して、テーマごとに示しています。

左側のグラフは割合（無回答を全体回答数から除く）を、右側のグラフは無回答も含めた実数を表示しています（無効票は除く）。また、テーマ3、4は、設問の選択肢が多いため一括の表にしています。

なお、資料編には問7以降を、問1～6の回答者属性でクロスしたこのほかの集計結果を掲載しています。

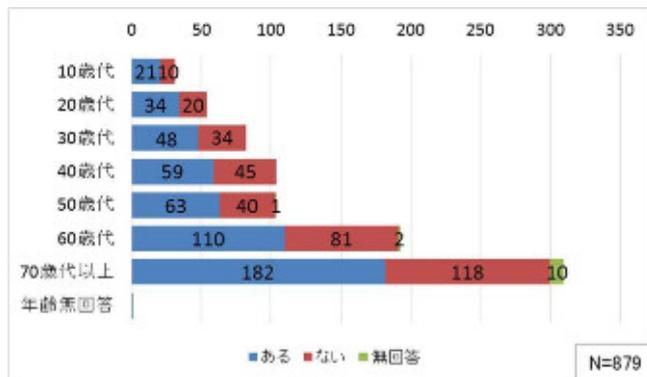
《テーマ》

- 1：どんな人が何の目的で訪れるか？
- 2：利用しないのはなぜか？
- 3：今後必要な都市機能は何か？
- 4：将来どんな姿になることを望むか？

#### 1 テーマ1：どんな人が何の目的で訪れるか？

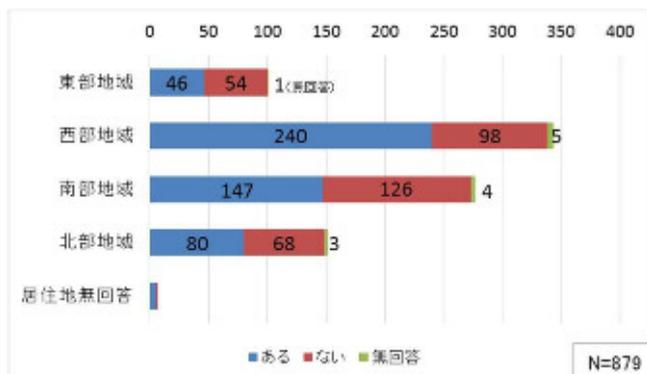
##### (1) 本地区への来訪状況 問7 × 年齢 問2

10歳代、20歳代の若年層が来訪する割合が、他の年代と比較して高くなっており、自動車を持たない人が多い世代の来訪割合が比較的高くなっているといえます。



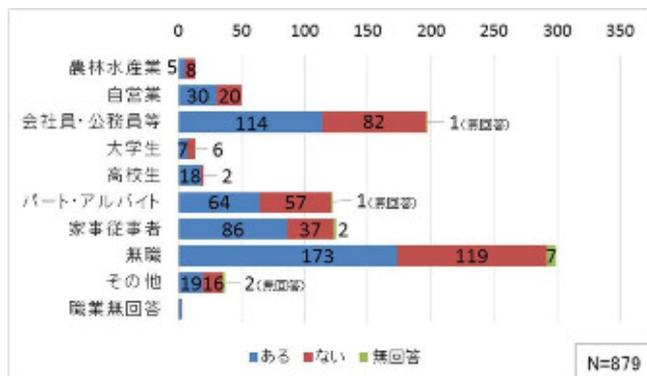
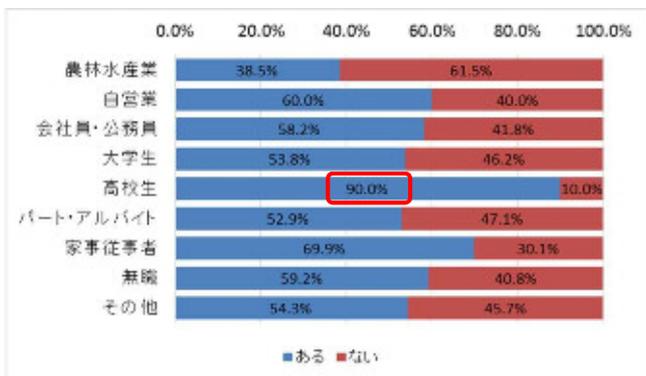
##### (2) 本地区への来訪状況 問7 × 居住地区 問3

西部地域の割合が約7割と最も高く、南部地域と北部地域が約5割で同程度、東部地域は若干低い水準となっています。



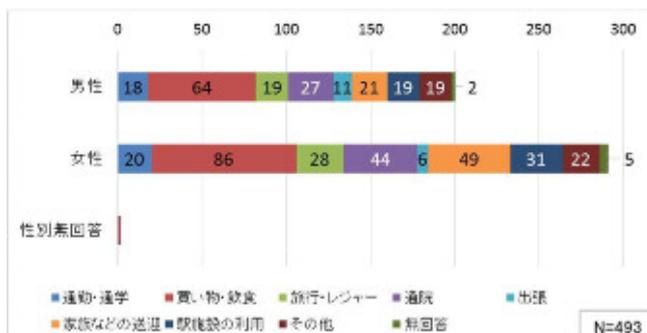
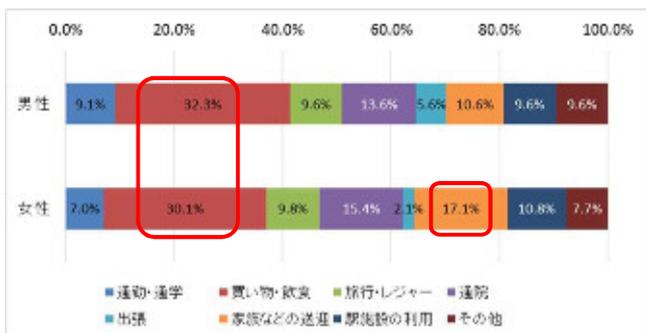
(3) 本地区への来訪状況 問7 × 職業 問4

高校生の9割が「ある」と回答しています。そのほかは、概ね5～7割で同程度ですが、農林水産業と回答した人は4割以下と低水準になっています。



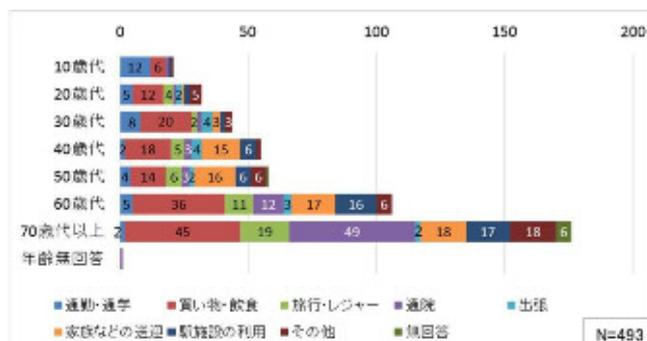
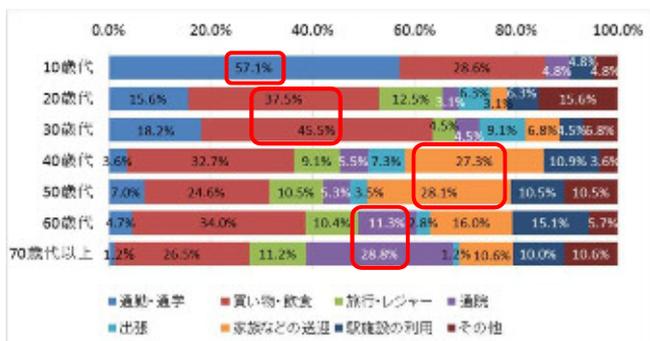
(4) 本地区への来訪目的 問8 × 性別 問1

男性も女性も「買い物・飲食」、「通院」で訪れる人の割合が高くなっています。また、「家族などの送迎」は女性の方が、割合が高くなっています。



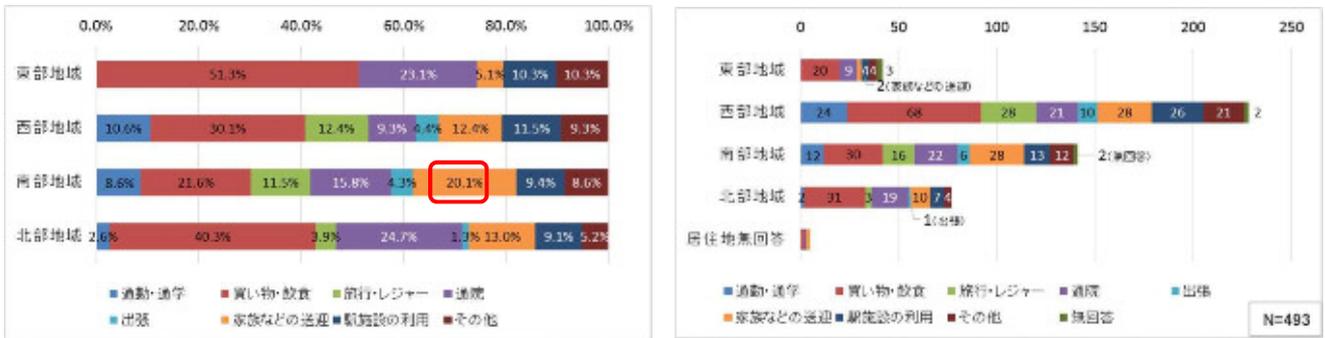
(5) 本地区への来訪目的 問8 × 年齢 問2

年齢では、10歳代の約6割が「通勤・通学」、20歳代、30歳代の概ね4～5割が「買い物・飲食」となっています。40歳代、50歳代になると他の年代より「家族などの送迎」の割合が、60歳代、70歳代以上になると他の年代より「通院」の割合が高くなっています。



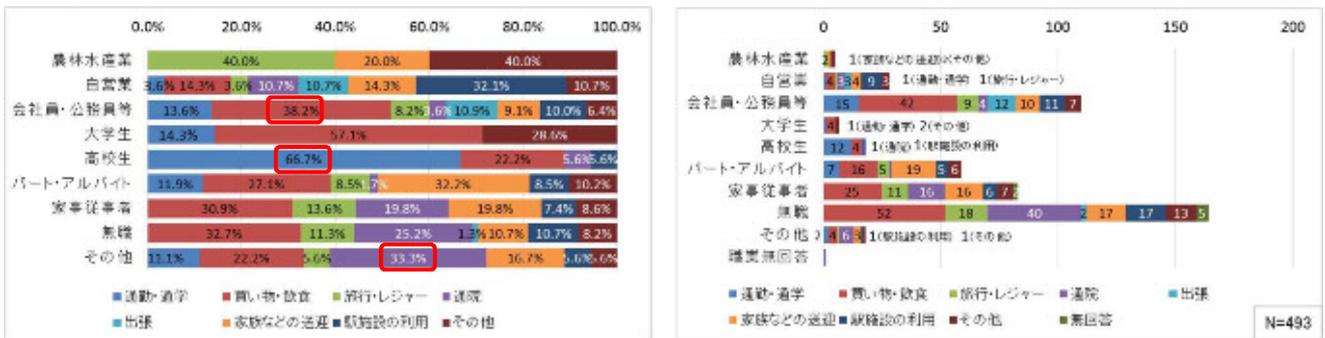
(6) 本地区への来訪目的 **問8** × 居住地区 **問3**

居住地区では、東部地域、北部地域の人は概ね4～5割が「買い物・飲食」、約2割が「通院」を目的としています。鉄道駅を有していない南部地域は他の地域より「家族などの送迎」が多くなっています。



(7) 本地区への来訪目的 **問8** × 職業 **問4**

高校生の約7割が「通勤・通学」を目的としています。「会社員・公務員等」は「買い物・飲食」が最も多くなっています。「パート・アルバイト」、「家事従事者」は「家族などの送迎」の割合が他の職業より多くなっています。



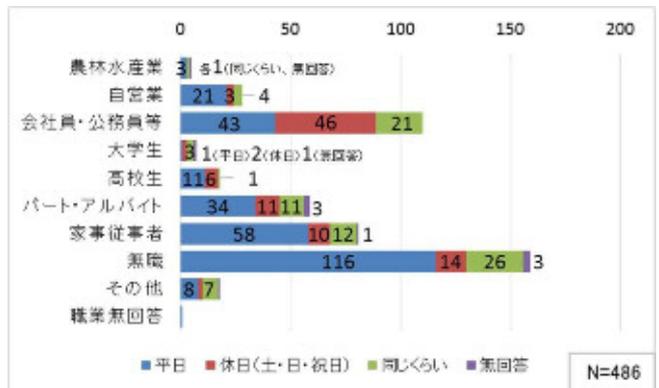
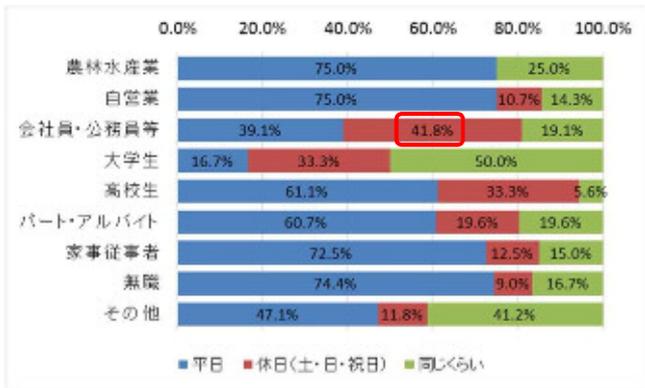
(8) 平日と休日の利用比較 **問9** × 年齢 **問2**

20歳代、30歳代、40歳代は他の年代より「休日」の割合が高くなっています。



(9) 平日と休日の利用比較 **問9** × 職業 **問4**

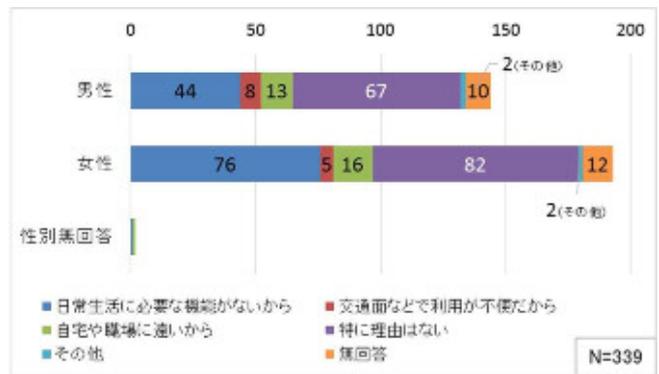
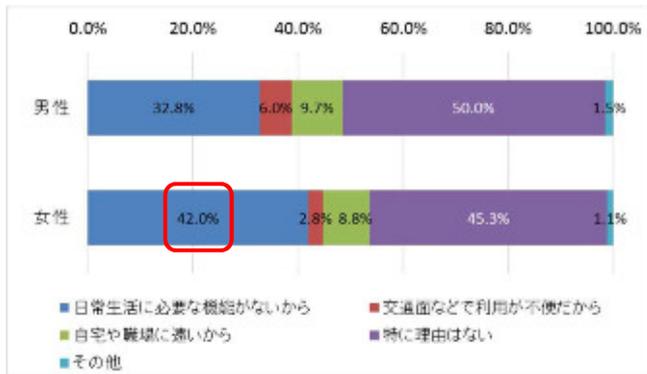
会社員・公務員等は「休日」の割合が高くなっています。(主目的は「買い物・飲食」  
【上記(7)参照】)



2 テーマ2：利用しないのはなぜか？

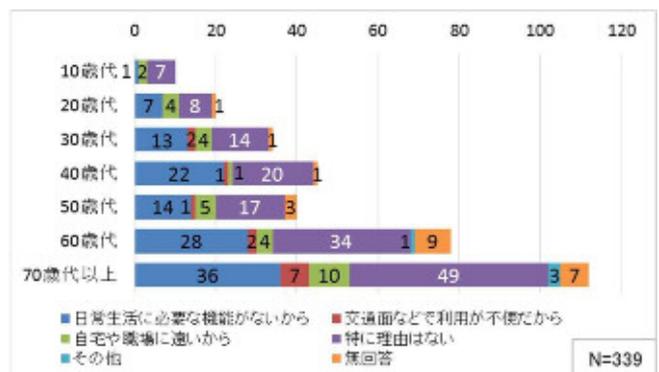
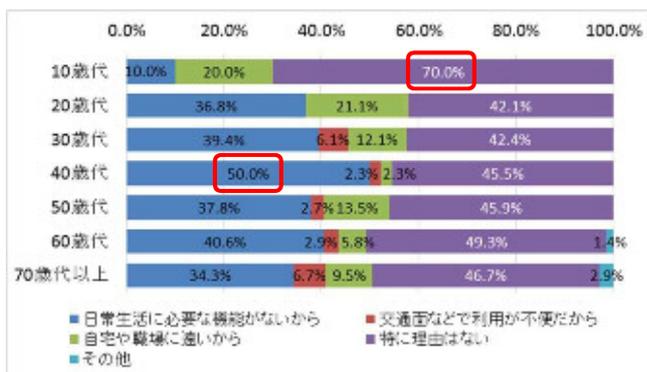
(1) 本地区を利用しない理由 **問12** × 性別 **問1**

男性よりも女性の方が「日常生活に必要な機能がない」と機能不足を挙げる人の割合が高くなっています。



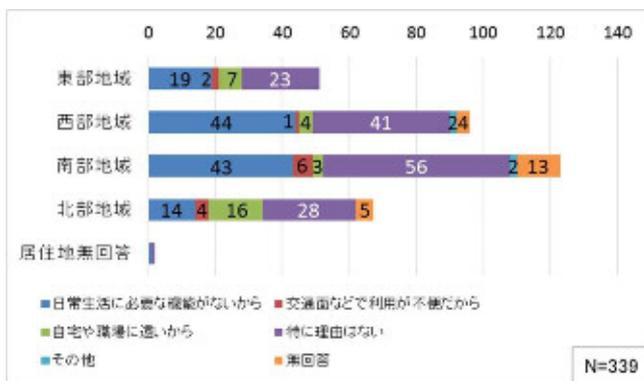
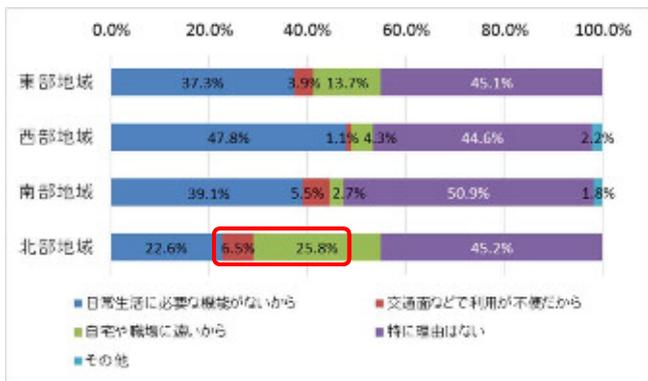
(2) 本地区を利用しない理由 **問12** × 年齢 **問2**

10歳代は「日常生活に必要な機能がないから」より「特に理由はない」が突出して多くなっています。一方、40歳代は「日常生活に必要な機能がないから」の回答割合が最も高く、機能不足を実感している人が多いといえます。



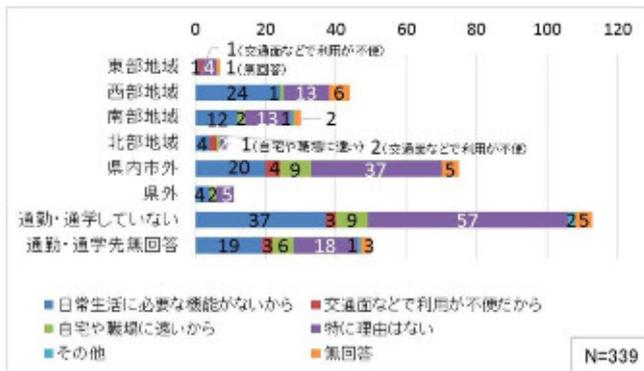
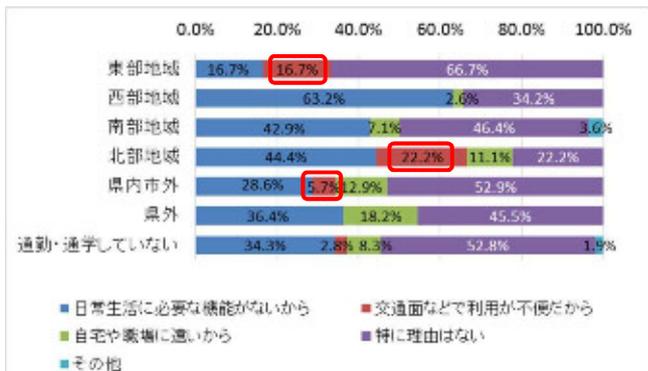
(3) 本地区を利用しない理由 **問12** × 居住地区 **問3**

北部地域では、「交通面などで利用が不便だから」、「自宅や職場に遠いから」の回答割合が他の地域より多くなっています。



(4) 本地区を利用しない理由 **問12** × 通勤・通学先 **問5**

西部地域、南部地域、県外において「交通面などで利用が不便」の回答は見られない一方、東部地域、北部地域、県内市外では多くはないものの“不便さ”が利用の障害になっている現状がうかがえます。



### 3 テーマ3：今後必要な都市機能は何か？

本地区に今後必要と思う都市機能について **問16** × 回答者属性 (**問1** ~ **問6**)

多くの項目で「④商業機能」や「②医療機能」、「⑭公共交通機能」などが多く挙げられる一方、特に高齢世代を中心に「⑰現状のままで良い」といった、新たな機能を望まない意見が少なからず挙げられています。

また、全般にわたって「⑮地域交流行事」、「⑯観光交流イベント」、「⑰イベント企画制度」など、ソフト対策を挙げる人は少なくなっており、現状では、ハード対策を伴う機能の整備に優先的に取り組んでいく必要性がうかがえます。

《割合》 ※1位回答の内訳クロス集計、空欄は「回答なし(=0.0%)」

		行政機能	医療機能	社会福祉機能	商業機能	遊戯・娯楽機能	教育文化機能	地域交流機能	観光交流機能	防災機能	防犯機能	公園・緑地機能	住居機能	道路機能	公共交通機能	地域交流行事	観光交流イベント	イベント企画制度	その他	現状のままで良い	無回答	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	ー	
性別	男性	3.8%	5.5%	1.5%	42.2%	4.9%	0.9%	1.2%	3.5%	0.6%	1.2%	4.7%	1.2%	2.9%	5.8%	0.3%	0.3%	0.3%	0.6%	10.8%	8.1%	
	女性	4.7%	7.5%	3.9%	37.5%	2.2%	0.4%	1.0%	4.7%	1.6%	1.4%	3.1%	0.2%	5.7%	7.7%	0.2%	0.6%		0.8%	7.3%	9.4%	
年齢	10歳代		10.0%	3.3%	43.3%	20.0%		3.3%	3.3%	3.3%	3.3%				3.3%				3.3%			
	20歳代			1.9%	53.7%	11.1%	1.9%	1.9%	1.9%		3.7%	1.9%		7.4%	7.4%					5.6%	1.9%	
	30歳代	2.5%	2.5%	2.5%	46.3%	6.3%	3.8%	1.3%	2.5%	1.3%	1.3%	6.3%	1.3%	7.5%	6.3%					3.8%	5.0%	
	40歳代	6.8%	7.8%	1.9%	44.7%	1.0%		1.9%	4.9%	1.0%	1.9%	1.0%		8.7%	3.9%		1.0%		1.9%	7.8%	3.9%	
	50歳代	1.9%	8.7%	2.9%	39.8%	2.9%		1.9%	4.9%	1.0%		5.8%		3.9%	11.7%	1.0%	1.0%	1.0%		4.9%	6.8%	
	60歳代	7.0%	3.8%	3.2%	41.6%	3.2%		1.1%	3.2%	1.1%	0.5%	4.9%	1.1%	4.3%	7.6%	0.5%				10.3%	6.5%	
	70歳代以上	4.2%	9.5%	3.2%	31.1%	0.4%	0.4%		5.3%	1.4%	1.4%	2.8%	0.7%	2.5%	6.4%		0.7%		1.1%	12.7%	16.3%	
居住地区	東部地域	8.4%	7.4%	3.2%	38.9%	4.2%	1.1%		4.2%	1.1%		7.4%		3.2%	1.1%				1.1%	11.6%	7.4%	
	西部地域	3.7%	6.1%	4.0%	40.4%	2.8%	0.9%	1.2%	3.7%	2.4%	1.5%	3.4%	0.9%	6.1%	6.4%	0.3%	0.3%		0.6%	6.7%	8.6%	
	南部地域	2.3%	8.0%	2.3%	39.0%	3.8%		1.1%	4.9%	0.4%	1.5%	3.8%	0.8%	2.3%	9.5%	0.4%	1.1%	0.4%	0.4%	8.0%	10.2%	
	北部地域	6.8%	5.4%	1.4%	39.5%	3.4%	0.7%	1.4%	4.1%		1.4%	2.0%		5.4%	6.8%				1.4%	12.9%	7.5%	
職業	農林水産業		18.2%		27.3%															36.4%	18.2%	
	自営業	6.0%	6.0%	4.0%	36.0%	2.0%		4.0%	8.0%			8.0%	2.0%	8.0%	4.0%	2.0%			2.0%	6.0%	2.0%	
	会社員・公務員等	3.1%	5.7%	2.1%	48.4%	5.7%	2.1%	0.5%	4.7%	1.0%	1.0%	4.7%	0.5%	4.7%	6.3%		0.5%		0.5%	5.2%	3.1%	
	大学生		8.3%		50.0%	16.7%			8.3%						16.7%							
	高校生		5.0%	5.0%	45.0%	15.0%		5.0%							5.0%				5.0%			
	パート・アルバイト	2.5%	5.9%	1.7%	47.5%	1.7%		0.8%	4.2%			3.4%		6.8%	7.6%			0.8%		8.5%	8.5%	
	家事従事者	6.6%	6.6%	3.3%	33.9%	1.7%		0.8%	5.0%	1.7%	2.5%	2.5%	0.8%	9.1%	9.1%	0.8%	0.8%		0.8%	6.6%	7.4%	
	無職	4.7%	7.6%	3.2%	35.6%	1.8%	0.4%	0.4%	3.6%	1.1%	1.1%	3.2%	0.7%	1.4%	6.8%		0.4%		0.7%	12.9%	14.4%	
	その他	8.8%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%		5.9%	5.9%	5.9%	2.9%	2.9%		5.9%	2.9%		2.9%			8.8%	14.7%	
	通勤・通学先	東部地域	6.7%			46.7%				6.7%	6.7%		20.0%			6.7%						6.7%
西部地域		2.8%	8.3%	2.8%	46.3%	3.7%	0.9%	0.9%	5.6%			6.5%		4.6%	4.6%					4.6%	8.3%	
南部地域		4.3%	8.7%	2.9%	44.9%	1.4%		2.9%			2.9%	1.4%		7.2%	11.6%	1.4%				5.8%	4.3%	
北部地域					44.4%	5.6%			11.1%				5.6%	5.6%	5.6%						16.7%	5.6%
県内市外		2.2%	3.3%	2.2%	44.4%	6.7%	1.7%	1.7%	2.8%	2.8%	1.7%	5.0%		6.1%	5.6%		0.6%		1.1%	6.7%	5.6%	
県外			6.3%	6.3%	43.8%	12.5%		6.3%	6.3%						12.5%						6.3%	
通勤・通学していない		7.2%	7.2%	2.8%	35.5%	1.6%		0.6%	4.4%	0.9%	1.2%	3.4%	1.2%	4.0%	7.5%	0.3%	0.6%	0.3%	0.9%	11.2%	9.0%	
日常交通手段	自動車(自分で運転)	4.0%	7.5%	2.4%	43.1%	2.6%	0.7%	1.0%	4.7%	1.0%	1.4%	3.5%	0.9%	4.9%	6.6%	0.2%	0.5%		0.7%	7.5%	6.8%	
	自動車(家族等が運転)	4.3%	3.3%	5.4%	32.6%	3.3%			3.3%		1.1%	4.3%		5.4%	9.8%			1.1%		13.0%	13.0%	
	バイク				27.8%	5.6%			5.6%		5.6%			5.6%							22.2%	27.8%
	電車	10.0%	3.3%		30.0%	16.7%		6.7%	6.7%	6.7%	3.3%	10.0%		0.0%	3.3%					3.3%		
	バス	5.6%	5.6%		44.4%	5.6%				5.6%					5.6%					5.6%	5.6%	16.7%
	タクシー			9.5%	19.0%				4.8%	4.8%					14.3%	4.8%				14.3%	28.6%	
	自転車	8.1%	5.4%	2.7%	35.1%	2.7%	2.7%					5.4%		2.7%	8.1%		2.7%			16.2%	8.1%	
	徒歩	3.7%	14.8%	7.4%	33.3%	3.7%		3.7%	3.7%			3.7%		3.7%	3.7%					7.4%	11.1%	
	その他	20.0%			20.0%							20.0%			20.0%						20.0%	

《実数》 ※1位回答の内訳クロス集計、空欄は「回答なし(=0)」

		行政機能	医療機能	社会福祉機能	商業機能	遊戯・娯楽機能	教育文化機能	地域交流機能	観光交流機能	防災機能	防犯機能	公園・緑地機能	住居機能	道路機能	公共交通機能	地域交流行事	観光交流イベント	イベント企画制度	その他	現状のままで良い	無回答
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	-
性別	男性	13	19	5	145	17	3	4	12	2	4	16	4	10	20	1	1	1	2	37	28
	女性	23	37	19	184	11	2	5	23	8	7	15	1	28	38	1	3		4	36	46
年齢	10歳代		3	1	13	6		1	1	1	1				1				1		
	20歳代			1	29	6	1	1	1		2	1		4	4					3	1
	30歳代	2	2	2	37	5	3	1	2	1	1	5	1	6	5					3	4
	40歳代	7	8	2	46	1		2	5	1	2	1		9	4		1		2	8	4
	50歳代	2	9	3	41	3		2	5	1		6		4	12	1	1	1		5	7
	60歳代	13	7	6	77	6		2	6	2	1	9	2	8	14	1				19	12
	70歳代以上	12	27	9	88	1	1		15	4	4	8	2	7	18		2		3	36	46
居住地区	東部地域	8	7	3	37	4	1		4	1		7		3	1				1	11	7
	西部地域	12	20	13	132	9	3	4	12	8	5	11	3	20	21	1	1		2	22	28
	南部地域	6	21	6	103	10		3	13	1	4	10	2	6	25	1	3	1	1	21	27
	北部地域	10	8	2	58	5	1	2	6		2	3		8	10				2	19	11
職業	農林水産業		2		3															4	2
	自営業	3	3	2	18	1		2	4			4	1	4	2	1			1	3	1
	会社員・公務員等	6	11	4	93	11	4	1	9	2	2	9	1	9	12		1		1	10	6
	大学生		1		6	2			1						2						
	高校生		1	1	9	3		1		1	1	1			1				1		
	パート・アルバイト	3	7	2	56	2		1	5			4		8	9			1		10	10
	家事従事者	8	8	4	41	2		1	6	2	3	3	1	11	11	1	1		1	8	9
	無職	13	21	9	99	5	1	1	10	3	3	9	2	4	19		1		2	36	40
	その他	3	2	2	6	2		2		2	2	1		2	1		1			3	5
通勤・通学先	東部地域	1			7				1	1		3			1						1
	西部地域	3	9	3	50	4	1	1	6			7		5	5					5	9
	南部地域	3	6	2	31	1		2			2	1		5	8	1				4	3
	北部地域				8	1			2				1	1	1					3	1
	県内市外	4	6	4	80	12	3	3	5	5	3	9		11	10		1		2	12	10
	県外		1	1	7	2		1	1						2					1	
	通勤・通学していない	23	23	9	114	5		2	14	3	4	11	4	13	24	1	2	1	3	36	29
日常交通手段	自動車(自分で運転)	23	43	14	248	15	4	6	27	6	8	20	5	28	38	1	3		4	43	39
	自動車(家族等が運転)	4	3	5	30	3			3		1	4		5	9			1		12	12
	バイク				5	1			1		1			1						4	5
	電車	3	1		9	5		2	2	2	1	3			1				1		
	バス	1	1		8	1				1					1				1	1	3
	タクシー			2	4				1	1					3	1				3	6
	自転車	3	2	1	13	1	1					2		1	3		1			6	3
	徒歩	1	4	2	9	1		1	1			1		1	1					2	3
	その他	1			1							1			1					1	
参考	全体	36	56	25	331	28	5	9	35	10	11	31	5	38	58	2	4	1	6	74	74

凡例：回答数上位5つの色分け： 第1 ⇒ 第2 ⇒ 第3 ⇒ 第4 ⇒ 第5

#### 4 テーマ4：将来どんな姿になることを望むか？

本地区に望む将来の姿について **問17** × 回答者属性（ **問1** ～ **問6** ）

ほとんどの項目で「①生活に必要なお店や施設などが集まる生活利便性の高い地区」及び「③海岸との調和を意識した癒しと安らぎにあふれる地区」を望む人が多くなっていますが、前者は若年世代ほど、後者は高齢世代ほど割合が高い傾向にあります。

また、サンプル数は多くないですが、10歳代、高校生は「④人が集まり交流を育む“にぎわい”の拠点となる地区」を望む人の割合が他と比較して高くなっており、若い世代ほど、賑やかな都市空間を求める傾向が見てとれます。

《割合》 ※空欄は「回答なし（=0.0%）」

		生活に必要なお店や施設などが集まる生活利便性の高い地区	本市の玄関となる地区として、まちなみの景観が優れた地区	海岸との調和を意識した癒しと安らぎにあふれる地区	人が集まり交流を育む“にぎわい”の拠点となる地区	オフィスや事業所などが集積する活気あるビジネス地区	公共交通や駐車場・駐輪場などが充実した交通利便性の高い地区	「おっぱい都市」にふさわしい子育てや教育の拠点となる地区	国内外から観光客が訪れる観光やショッピングの拠点となる地区	「自然敬愛都市」にふさわしい環境に配慮した緑あふれる省エネ地区	市にふさわしい誰もが安心・安全・安心遊べる地区	医療との連携やスポーツなど健康づくりの拠点となる地区	その他	無回答
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	-
性別	男性	19.7%	10.0%	16.6%	10.1%	2.2%	11.4%	2.8%	5.8%	3.7%	8.3%	3.6%	1.1%	4.5%
	女性	20.9%	8.2%	16.9%	8.8%	1.2%	12.0%	3.9%	3.2%	4.8%	10.5%	5.1%	0.5%	4.0%
年齢	10歳代	23.8%	6.0%	11.9%	13.1%	4.8%	7.1%	4.8%	2.4%	7.1%	11.9%	4.8%	2.4%	0.7%
	20歳代	29.3%	5.7%	15.0%	7.9%	14.3%	14.3%	7.1%	2.9%	1.4%	10.0%	4.3%	1.4%	0.7%
	30歳代	24.8%	6.7%	15.7%	10.5%	2.9%	13.3%	6.7%	1.4%	3.8%	8.6%	2.4%	1.0%	2.4%
	40歳代	23.7%	10.7%	16.8%	8.8%	1.5%	9.5%	5.0%	4.2%	1.9%	8.8%	5.7%		3.4%
	50歳代	21.6%	7.6%	16.3%	11.4%	1.9%	13.3%	2.7%	4.9%	4.9%	6.4%	4.5%	1.5%	3.0%
	60歳代	18.3%	10.4%	19.7%	9.6%	1.0%	11.0%	1.8%	4.8%	6.2%	9.0%	4.6%	1.0%	2.4%
	70歳代以上	16.9%	9.3%	16.3%	8.1%	1.5%	12.1%	2.4%	5.0%	4.3%	11.2%	4.7%	0.3%	7.7%
居住地区	東部地域	23.7%	7.1%	15.8%	10.3%	2.0%	13.0%	4.0%	2.4%	4.0%	7.1%	6.7%	0.8%	3.2%
	西部地域	21.2%	9.9%	17.8%	8.4%	1.8%	10.3%	3.6%	4.3%	4.8%	9.0%	4.7%	0.9%	3.3%
	南部地域	19.6%	8.6%	15.7%	9.9%	1.3%	12.6%	3.4%	4.3%	4.7%	9.9%	4.1%	1.0%	4.9%
	北部地域	17.8%	8.4%	16.8%	10.0%	1.1%	13.2%	2.7%	5.4%	3.2%	11.9%	3.8%		5.7%
職業	農林水産業	7.4%	14.8%	18.5%			22.2%	3.7%		7.4%	7.4%	3.7%		14.8%
	自営業	18.8%	9.4%	21.9%	12.5%	1.6%	7.0%		6.3%	10.9%	5.5%	3.9%		2.3%
	会社員・公務員等	23.6%	8.0%	16.1%	11.7%	1.9%	12.5%	4.0%	4.2%	2.7%	7.1%	4.8%	1.1%	2.3%
	大学生	26.5%	11.8%	20.6%	8.8%	2.9%	11.8%	2.9%		2.9%	8.8%		2.9%	
	高校生	22.2%	5.6%	5.6%	14.8%	5.6%	9.3%	3.7%	3.7%	11.1%	13.0%	3.7%	1.9%	
	パート・アルバイト	23.9%	7.7%	20.2%	7.1%	1.3%	10.4%	4.4%	4.0%	2.7%	9.1%	5.4%	0.7%	3.0%
	家事従事者	20.6%	11.2%	15.6%	7.8%	0.9%	13.1%	4.0%	2.5%	4.7%	11.2%	4.7%	0.3%	3.4%
	無職	16.7%	9.2%	17.0%	9.0%	1.4%	11.6%	2.9%	5.1%	4.8%	10.8%	4.4%	0.7%	6.5%
その他	23.8%	4.8%	9.5%	7.1%	2.4%	14.3%	3.6%	6.0%	2.4%	14.3%	4.8%	1.2%	6.0%	
通勤・通学先	東部地域	22.0%	9.8%	22.0%	9.8%		14.6%	4.9%	2.4%	4.9%		7.3%		2.4%
	西部地域	21.7%	6.3%	18.5%	11.5%	1.0%	11.2%	2.1%	5.6%	4.5%	7.0%	5.2%	1.0%	4.2%
	南部地域	24.0%	10.4%	14.8%	7.1%	2.7%	10.4%	6.0%	2.7%	5.5%	8.7%	3.8%	1.1%	2.7%
	北部地域	22.9%	12.5%	22.9%	12.5%		10.4%		2.1%		14.6%			2.1%
	県内市外	22.1%	7.7%	14.6%	11.4%	2.4%	12.7%	4.5%	4.5%	3.9%	8.6%	4.1%	1.3%	2.4%
	県外	26.1%	13.0%	15.2%	6.5%	2.2%	10.9%	2.2%	2.2%	2.2%	10.9%	4.3%	2.2%	2.2%
	通勤・通学していない	18.3%	10.8%	16.6%	8.2%	1.4%	12.1%	3.1%	4.8%	4.5%	10.6%	4.5%	0.5%	4.6%
日常交通手段	自動車(自分で運転)	21.0%	8.7%	17.3%	9.5%	1.5%	12.4%	3.7%	4.6%	3.9%	8.6%	4.7%	0.7%	3.3%
	自動車(家族等が運転)	16.1%	10.1%	17.3%	8.5%	1.6%	10.5%	4.4%	2.0%	6.9%	12.1%	4.8%		5.6%
	バイク	12.8%	12.8%	17.9%	5.1%		15.4%		5.1%		10.3%	2.6%		17.9%
	電車	22.4%	9.4%	7.1%	9.4%	3.5%	11.8%	3.5%	5.9%	4.7%	16.5%	3.5%	2.4%	
	バス	28.2%	2.6%	10.3%	7.7%		5.1%	2.6%	2.6%	7.7%	12.8%	2.6%	5.1%	12.8%
	タクシー	20.8%	7.5%	20.8%	15.1%		7.5%	1.9%	5.7%	1.9%	7.5%			11.3%
	自転車	19.4%	10.8%	19.4%	5.4%	5.4%	9.7%	1.1%	6.5%	4.3%	8.6%	4.3%	2.2%	3.2%
	徒歩	19.4%	10.4%	9.0%	11.9%		10.4%	1.5%	1.5%	6.0%	14.9%	6.0%	1.5%	7.5%
その他	18.2%	9.1%	27.3%	9.1%		9.1%	9.1%		9.1%				9.1%	

《実数》 ※空欄は「回答なし (=0)」

		生活に必要なお店や施設などの生活利便性の高い地区	本市の玄関となる地区としてみられる景観が優れた地区	海岸との調和を意識した癒しと安らぎにあふれる地区	人が集まり交流を育む「にぎわい」の拠点となる地区	オフィスや事業所などが集積する活気あるビジネス地区	公共交通や駐車場・駐輪場などが充実した交通利便性の高い地区	「おっぴい都市」にふさわしい子育てや教育の拠点となる地区	国内外から観光客が訪れる観光やインテイク・サービスの拠点となる地区	「自然敬愛都市」にふさわしい環境に配慮した緑あふれる省エネ地区	「市」にふさわしい誰もが安心して遊べる地区	医療との連携やスポーツなど健康づくりの拠点となる地区	その他	無回答
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	-
性別	男性	179	91	151	92	20	103	25	53	34	75	33	10	41
	女性	267	105	216	113	15	153	50	41	62	135	65	7	51
年齢	10歳代	20	5	10	11	4	6	4	2	6	10	4	2	
	20歳代	41	8	21	11		20	10	4	2	14	6	2	1
	30歳代	52	14	33	22	6	28	14	3	8	18	5	2	5
	40歳代	62	28	44	23	4	25	13	11	5	23	15		9
	50歳代	57	20	43	30	5	35	7	13	13	17	12	4	8
	60歳代	91	52	98	48	5	55	9	24	31	45	23	5	12
	70歳代以上	125	69	120	60	11	89	18	37	32	83	35	2	57
居住地区	東部地域	60	18	40	26	5	33	10	6	10	18	17	2	8
	西部地域	187	87	157	74	16	91	32	38	42	79	41	8	29
	南部地域	133	58	106	67	9	85	23	29	32	67	28	7	33
	北部地域	66	31	62	37	4	49	10	20	12	44	14		21
職業	農林水産業	2	4	5			6	1		2	2	1		4
	自営業	24	12	28	16	2	9		8	14	7	5		3
	会社員・公務員等	123	42	84	61	10	65	21	22	14	37	25	6	12
	大学生	9	4	7	3	1	4	1		1	3		1	
	高校生	12	3	3	8	3	5	2	2	6	7	2	1	
	パート・アルバイト	71	23	60	21	4	31	13	12	8	27	16	2	9
	家事従事者	66	36	50	25	3	42	13	8	15	36	15	1	11
	無職	121	67	123	65	10	84	21	37	35	78	32	5	47
その他	20	4	8	6	2	12	3	5	2	12	4	1	5	
通勤・通学先	東部地域	9	4	9	4		6	2	1	2		3		1
	西部地域	62	18	53	33	3	32	6	16	13	20	15	3	12
	南部地域	44	19	27	13	5	19	11	5	10	16	7	2	5
	北部地域	11	6	11	6		5		1		7			1
	県内市外	103	36	68	53	11	59	21	21	18	40	19	6	11
	県外	12	6	7	3	1	5	1	1	1	5	2	1	1
	通勤・通学していない	154	91	140	69	12	102	26	40	38	89	38	4	39
日常交通手段	自動車(自分で運転)	322	133	264	146	23	190	56	71	60	132	72	10	51
	自動車(家族等が運転)	40	25	43	21	4	26	11	5	17	30	12		14
	バイク	5	5	7	2		6		2		4	1		7
	電車	19	8	6	8	3	10	3	5	4	14	3	2	
	バス	11	1	4	3		2	1	1	3	5	1	2	5
	タクシー	11	4	11	8		4	1	3	1	4			6
	自転車	18	10	18	5	5	9	1	6	4	8	4	2	3
	徒歩	13	7	6	8		7	1	1	4	10	4	1	5
	その他	2	1	3	1		1	1		1				1
参考	全体	448	197	369	205	35	259	75	94	97	211	100	17	92

凡例：回答数上位5つの色分け： 第1 ⇒ 第2 ⇒ 第3 ⇒ 第4 ⇒ 第5

## IV 調査票

### 1 アンケート調査依頼状、調査票

## 「光駅周辺地区拠点整備基本構想」の策定に向けた 市民アンケート調査

### ● アンケート調査ご協力のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、本市の玄関口である光駅周辺地区が、いっそう便利で魅力あふれる空間となるためのまちづくりを計画しており、今後2年間で、その方向性や全体像を明らかにする「光駅周辺地区拠点整備基本構想」を策定することとしています。

このアンケートは、市民の皆さんの光駅周辺地区のご利用状況や同地区の将来に向けたご意向などをお伺いし、基本構想策定の基礎資料とするために実施するもので、16歳以上の市民の皆さんの中から2,000人の方を無作為に選んでお送りしています。

集計結果は公表しますが、個人に関わる情報が公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

平成29年8月

光 市



### 《はじめにお読みください》

- ◇ 別添の **B** 調査票にご記入ください。□で囲まれた部分が回答の記入箇所です。
- ◇ 設問ごとの指示に従い、番号に○（マル）印、又は回答の記入をお願いします。設問によって○印をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- ◇ 封筒の宛名の方が答えられない場合、ご家族の方がお答えください。
- ◇ ご記入後は、**B** 調査票のみ同封の返信用の封筒に入れ、切手をはらずに8月14日(月)までにご投函ください。封筒には住所、氏名の記入は不要です。
- ◇ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問合せ】 建設部 都市政策課 都市計画係 担当：西村  
電話：0833-72-1574 FAX：0833-72-3478 E-mail：toshi@city.hikari.lg.jp

《参考》光駅周辺の地形図



この測量成果は、国土交通院長の承認を受けて得たものである  
(測量番号) 平23中公第 96号



**問 8 「光駅周辺」に行く目的は何ですか？《最も頻度が高い目的 1つに○》**

- ① 通勤・通学      ② 買い物・飲食      ③ 旅行・レジャー      ④ 通院      ⑤ 出張  
⑥ 家族などの送迎      ⑦ 駅施設の利用(待合せ、切符購入、トイレ、時刻表確認など)  
⑧ その他 ( \_\_\_\_\_ )

**問 9 問 8 の目的で行くのは、平日と休日のどちらが多いですか？《1つに○》**

- ① 平日      ⇒<問 10 に回答後、問 13 へ>  
② 休日(土・日・祝日)      ⇒<問 11 に回答後、問 13 へ>  
③ 同じくらい      ⇒<問 10 と問 11 に回答後、問 13 へ>

**問 10 平日の利用頻度はどのくらいですか？《1つに○》**

- ① ほぼ毎日      ② 週 2・3 回程度      ③ 週 1 回程度      ④ 月に 2・3 回程度  
⑤ 年数回程度      ⑥ その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 9 で①を選んだ方→問 13 へ  
" ③を選んだ方→問 11 へ

**問 11 休日の利用頻度はどのくらいですか？《1つに○》**

- ① ほぼ毎週      ② 月に 2・3 回程度      ③ 年数回程度      ④ その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 13 へ

**問 12 日常生活において光駅周辺を利用されない理由は何ですか？《1つに○》**

- ① 日常生活に必要な機能がないから      ② 交通面などで利用が不便だから  
③ 自宅や職場から遠いから(近くに別の駅がある)      ④ 特に理由はない(利用する必要がないなど)  
⑤ その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 13 へ

### 3 光駅周辺エリアの現状についてお伺いします

**問 13 光駅周辺の問題点は何だと思えますか？《3つまでに○》**

- ① 北口(虹ヶ丘)側からの駅の利用が不便なこと  
② 商業施設や娯楽施設、観光交流施設など「にぎわい」が不十分なこと  
③ 公共施設や医療・福祉サービスなど生活に身近なサービス施設が不十分なこと  
④ 段差の解消やエレベーターの設置など、バリアフリー化が不十分なこと  
⑤ 電車やバス、タクシーなどの交通の接続や利便性が不十分なこと  
⑥ 虹ヶ浜海岸に近接する魅力を生かしきれていないこと  
⑦ いわゆる通過車両が駅前のロータリーに進入するなど安全・安心の対策が不十分なこと  
⑧ 駐車場や駐輪場の整備(設備、受入台数など)が不十分なこと  
⑨ マイカーの送迎スペースとバスやタクシーの乗り場が混在していること  
⑩ その他 ( \_\_\_\_\_ )

問 14 光駅周辺が他の駅（市内の駅、近隣の駅など）周辺と比べて優れているところや魅力（強み）について、簡潔にご記入ください。

例) ○○が充実している、▲▲などところが優れている など

問 15 光駅周辺が他の駅（市内の駅、近隣の駅など）周辺と比べて劣っているところや課題（弱み）について、簡潔にご記入ください。

例) ●●が不足している、□□はもっとうこうあって欲しい など

#### 4 光駅周辺エリアの今後（将来像）についてお伺いします

問 16 光駅周辺地区は、光市の「都市拠点地区※1」に位置付けていますが、今後必要と思われる機能を、下記の【選択肢】からお選びください。

《3つを選択、優先順位の高い順に記入》

##### 【選択肢】

- ① 行政機能（市役所の窓口など）
- ② 医療機能（病院・診療所など）
- ③ 社会福祉機能（保育所、老人ホーム、障害者施設など）
- ④ 商業機能（飲食店、ショッピングセンターなど）
- ⑤ 遊戯・娯楽機能（映画館、アミューズメント施設など）
- ⑥ 教育文化機能（幼稚園、小中学校、高等学校など）
- ⑦ 地域交流機能（会議室・ホールなど）
- ⑧ 観光交流機能（観光案内所、案内板などの施設）
- ⑨ 防災機能（避難所、備蓄倉庫など）
- ⑩ 防犯機能（防犯灯・街路灯など）
- ⑪ 公園・緑地機能（公園、緑地、広場など）
- ⑫ 住居機能（宅地、集合住宅など）
- ⑬ 道路機能（道路、バリアフリー経路など）
- ⑭ 公共交通機能（JR、バス、タクシー、交通の接続など）
- ⑮ 地域交流行事（お祭りなどの地域行事など）
- ⑯ 観光交流イベント（来訪者向けのイベントなど）
- ⑰ 市民がイベントなどを企画できる制度
- ⑱ その他
- ⑲ 現状のままで良い

##### 【回答記入欄】

優先順位	番号
1	
2	
3	
「⑱その他」を選ばれた場合はその内容	

「⑱現状のままで良い」を選ばれた場合は、欄内に⑲を1つのみ記入

※1 都市拠点地区・・・  
交通機能や環境整備を進め、都市機能の集積と高度化を図る地区（光市都市計画マスタープランで位置付け）

## 問 17 光駅周辺のエリアが将来どのような地区になることを望みますか？

《3つまでに○》

- ① 生活に必要なお店や施設などが集まる生活利便性の高い地区
- ② 本市の玄関となる地区として、まちなみの景観が優れた地区
- ③ 海岸との調和を意識した癒しと安らぎにあふれる地区
- ④ 人が集まり交流を育む“にぎわい”の拠点となる地区
- ⑤ オフィスや事業所などが集積する活気あるビジネス地区
- ⑥ 公共交通や駐車場・駐輪場などが充実した交通利便性の高い地区
- ⑦ 「おっぴ都市」にふさわしい子育てや教育の拠点となる地区
- ⑧ 国内外から観光客が訪れる観光やシティセールス※2の拠点となる地区
- ⑨ 「自然敬愛都市」にふさわしい環境に配慮した緑あふれる省エネ地区
- ⑩ バリアフリーなど「安全・安心都市」にふさわしい誰もが安心して回遊できる地区
- ⑪ 医療との連携やスポーツなど健康づくりの拠点となる地区
- ⑫ その他（ \_\_\_\_\_ ）

※2 シティセールス・・・  
まちの魅力を広く発信し、知名度  
や都市イメージの向上を図ること

## 5 おわりに

問 18 光駅周辺のまちづくりについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、8月14日（月）までにご投函をお願いします。

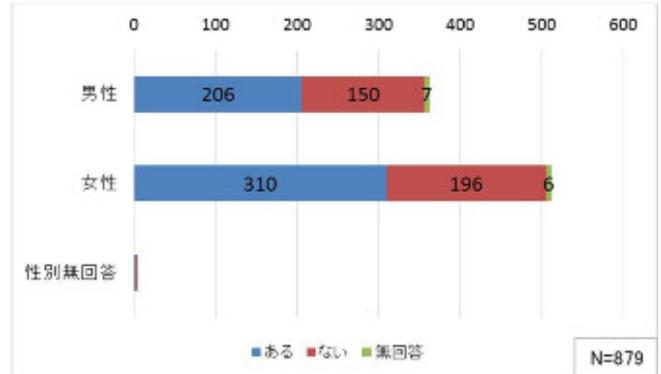
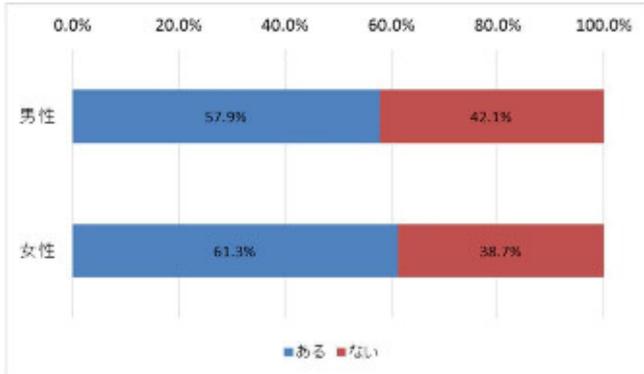
## V 資料編

### 1 その他のクロス集計（Ⅲ以外）

#### （1）本地区への来訪状況 **問7** × 回答者属性

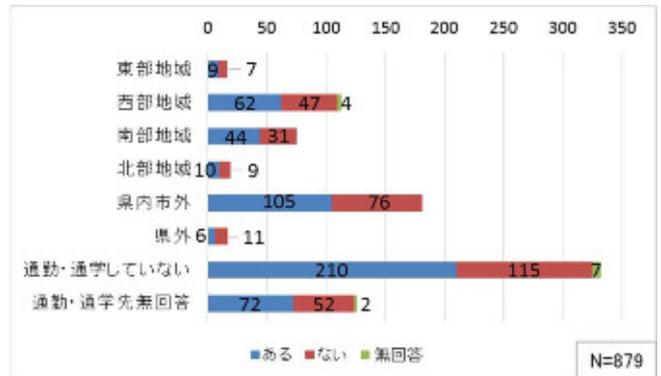
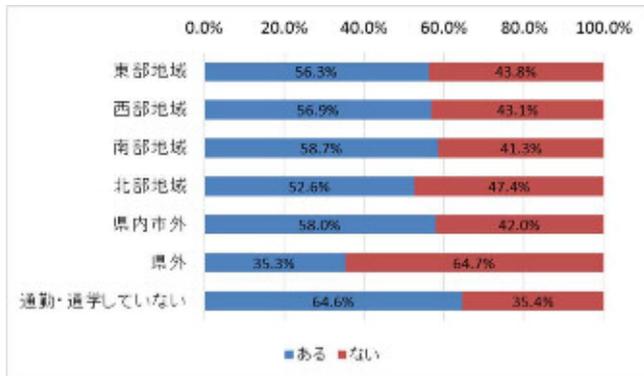
##### <×性別 **問1**>

男女とも約6割が「ある」と回答し、大きな違いは見られません。



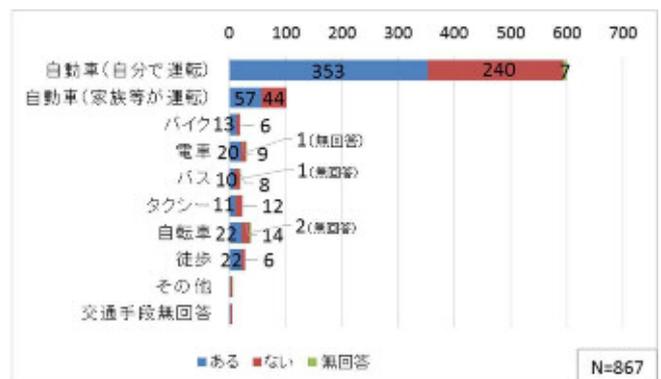
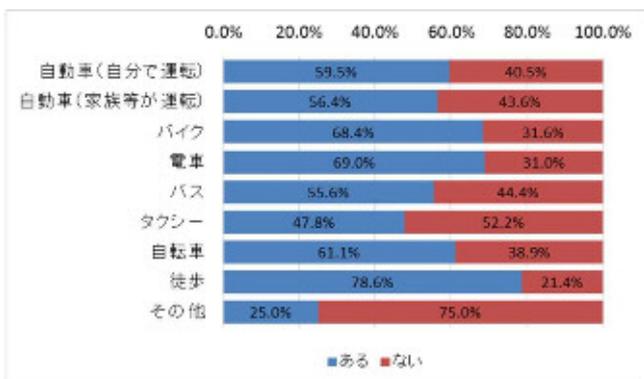
##### <×通勤・通学先 **問5**>

市内の地域および県内市外では「ある」が概ね6割と、大きな違いは見られませんが、県外は他と比較して低い水準になっています。



##### <×日常交通手段 **問6**>

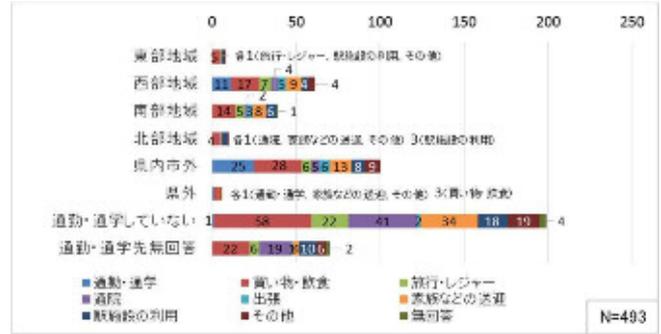
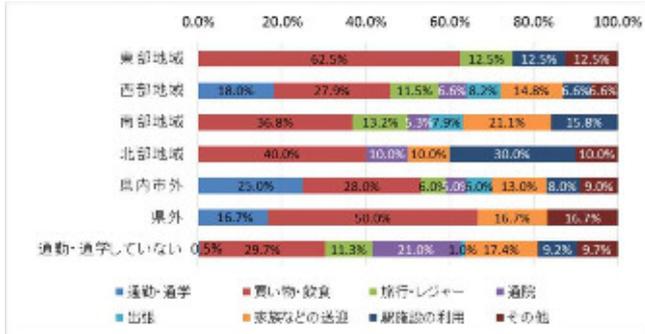
日常交通手段では、「徒歩」、「電車」、「バイク」の人の「ある」の割合が高くなっています。



(2) 本地区への来訪目的 **問 8** × 回答者属性

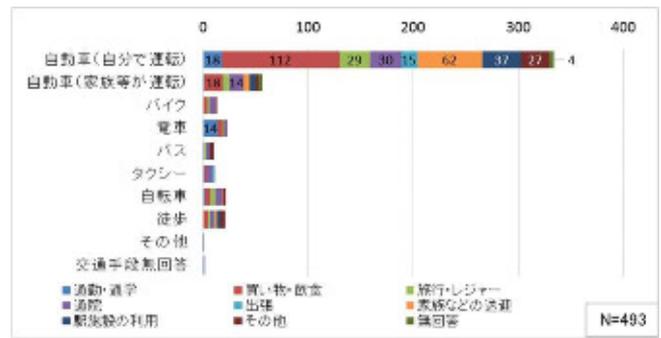
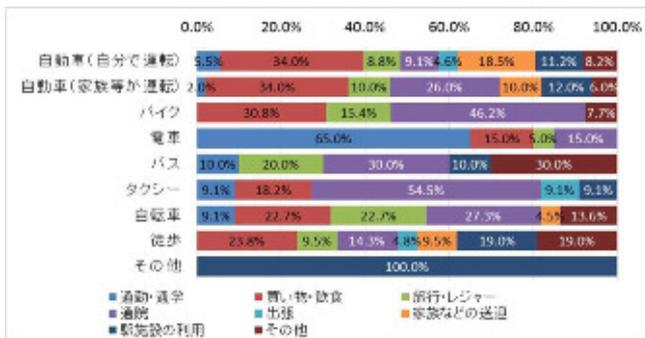
<×通勤・通学先 **問 5**>

いずれも「買い物・飲食」が最も多く、特に東部地域の割合が高くなっています。



<×日常交通手段 **問 6**>

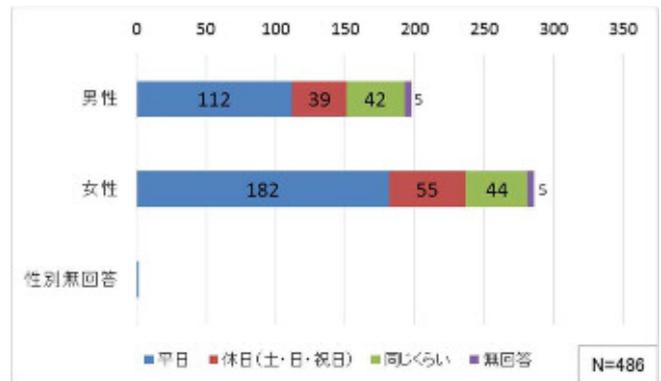
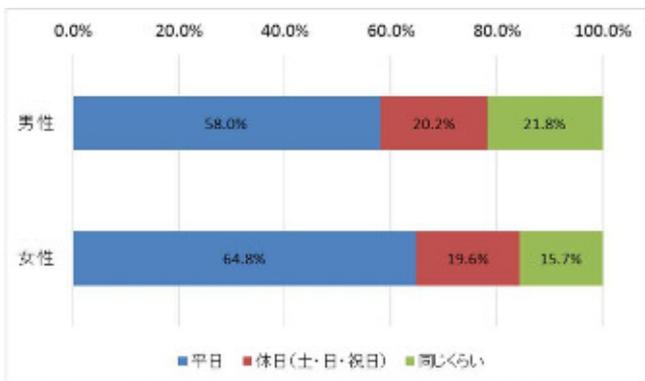
電車を交通手段とする人は、通勤・通学を目的とする人が多くなっています。



(3) 平日と休日の利用比較 **問 9** × 回答者属性

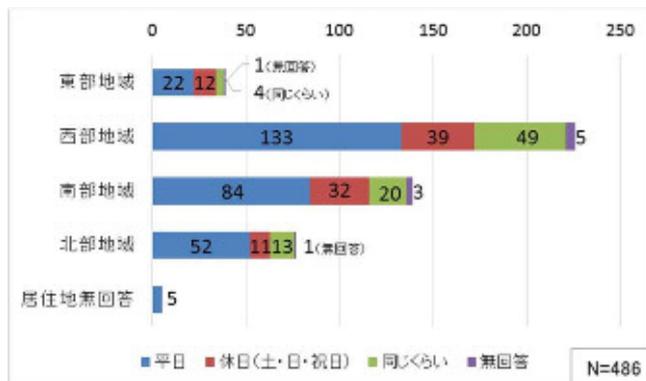
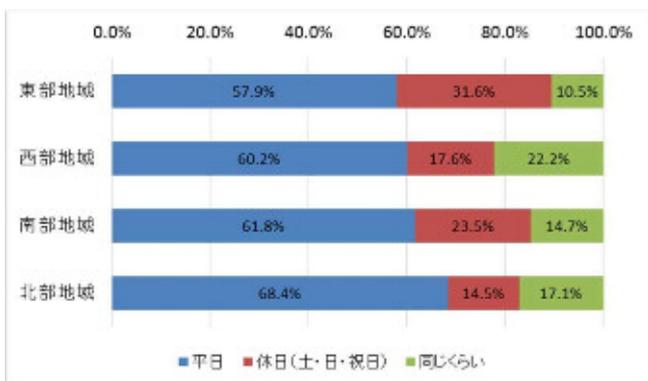
<×性別 **問 1**>

男女ともに「平日」が多く、女性の方が若干その割合が高くなっています。



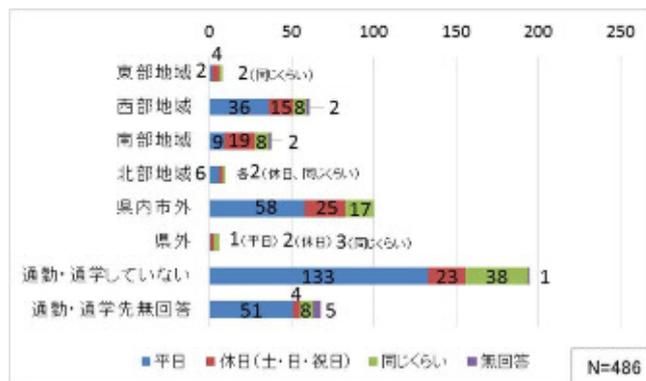
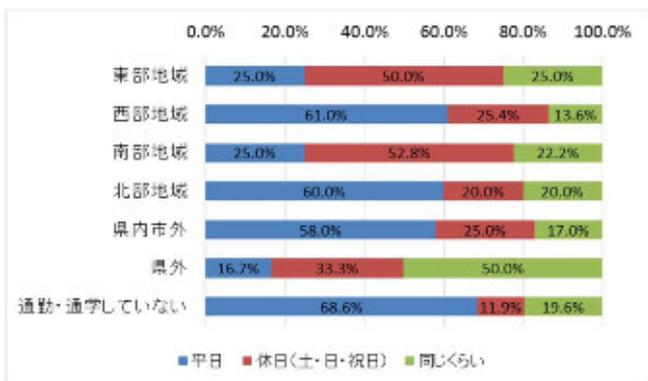
<×居住地区 問3 >

いずれの地域も概ね6割が「平日」となっています。東部地域は休日が比較的多くなっています。



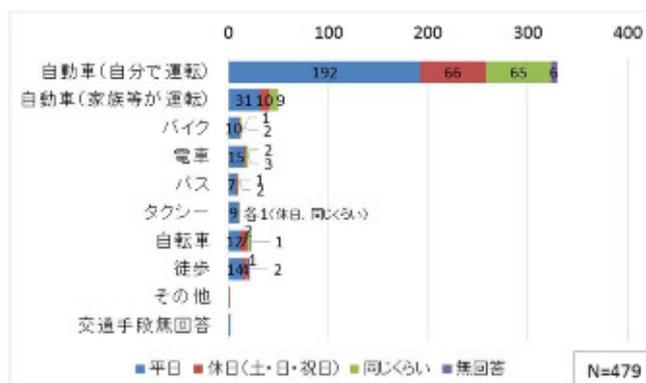
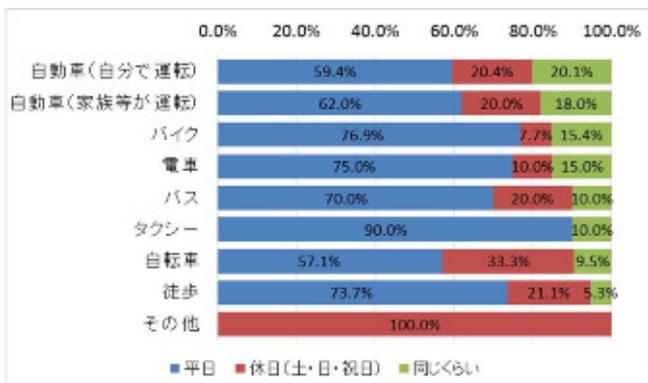
<×通勤・通学先 問5 >

西部地域、県内市外、通勤・通学をしていない人は「平日」に来訪する人の割合が高くなっています。



<×日常交通手段 問6 >

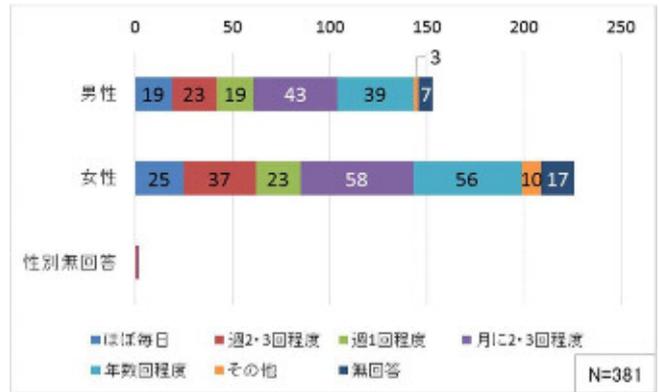
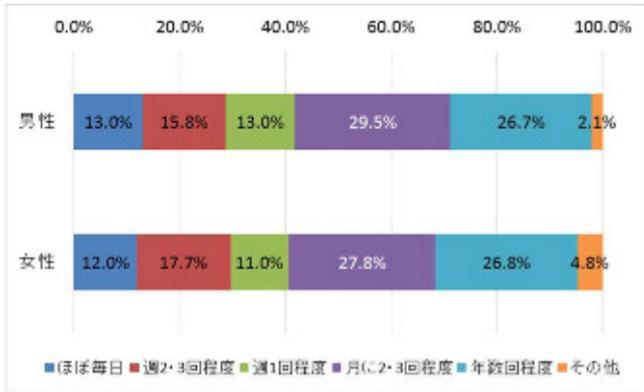
いずれの手段別でも「平日」が多くなっていますが、自転車は他の交通手段より「休日」の割合が高くなっています。



(4) 平日の利用頻度 **問 10** × 回答者属性

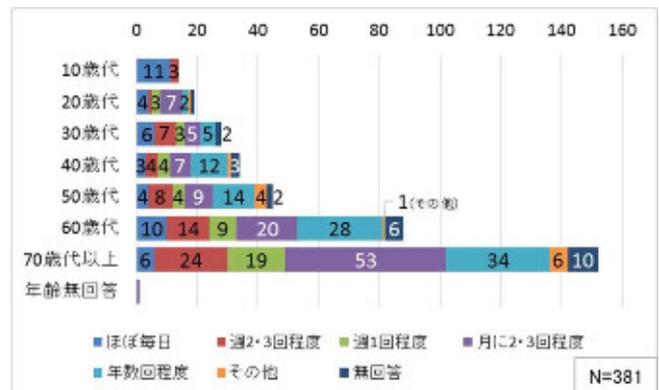
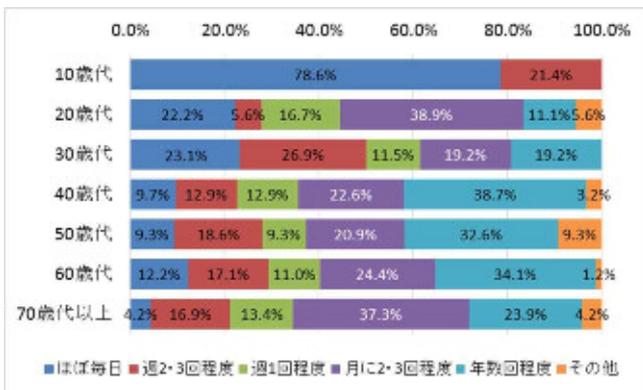
<×性別 **問 1**>

男女ともに同じような傾向で、「ほぼ毎日」、「週2・3回」のように比較的頻度の高い人は概ね3割となり、一方で「月に2・3回」、「年数回程度」のように頻度の低い人は概ね5割となっています。



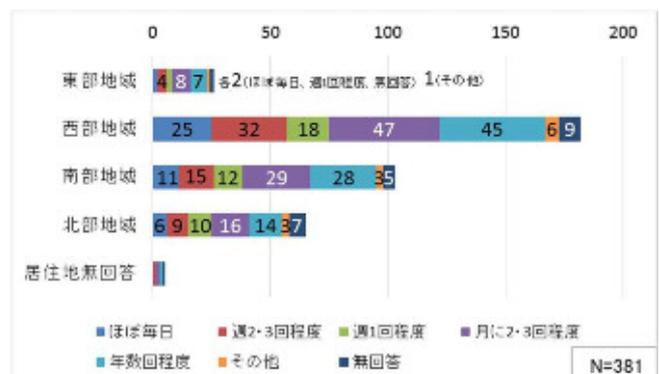
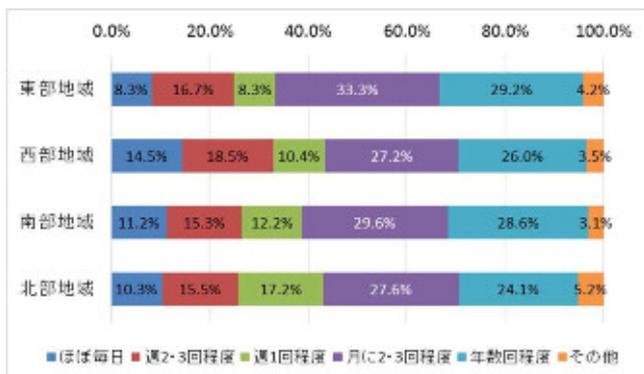
<×年齢 **問 2**>

10歳代の「ほぼ毎日」の割合が8割と、通学での利用が顕著になっています。また、年代の上昇につれ、利用頻度が低下する傾向が見られます。



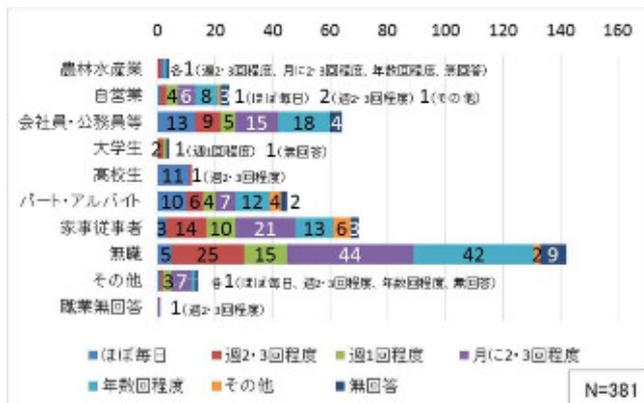
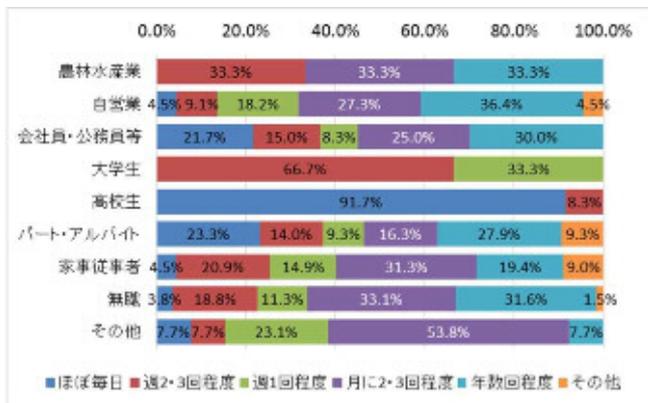
<×居住地区 **問 3**>

本地区がある西部地域では高頻度の利用が多少見られますが、全体的に低頻度の利用が多くなっています。



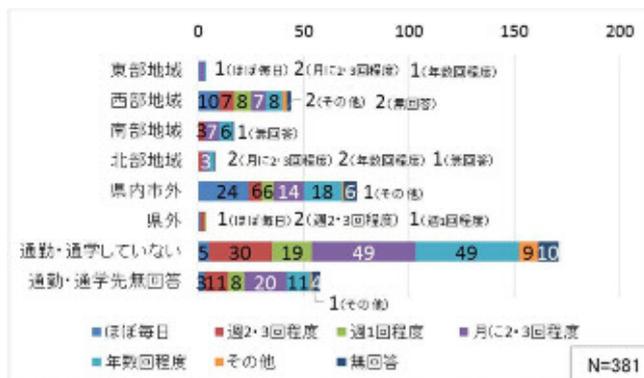
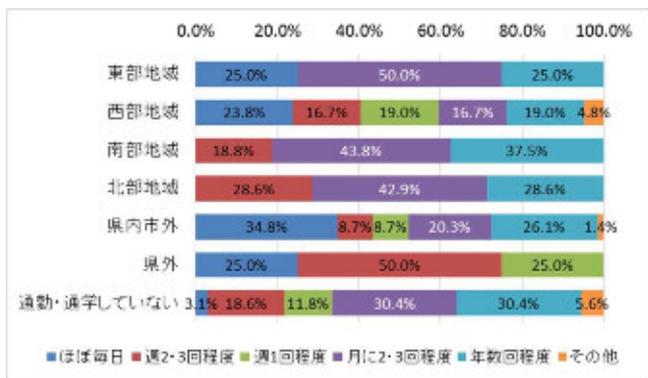
<×職業 問4 >

会社員・公務員等、高校生、パート・アルバイト、家事従事者、無職など、来訪目的が「通勤・通学」、「買い物・飲食」、「通院」のような日常的な行動をする場合は利用頻度の高い人が多いことがうかがえます。



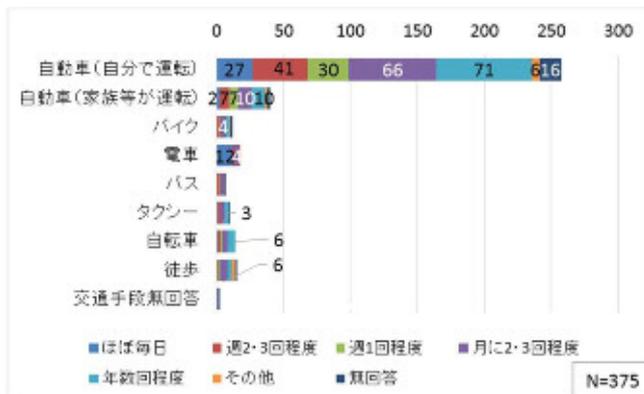
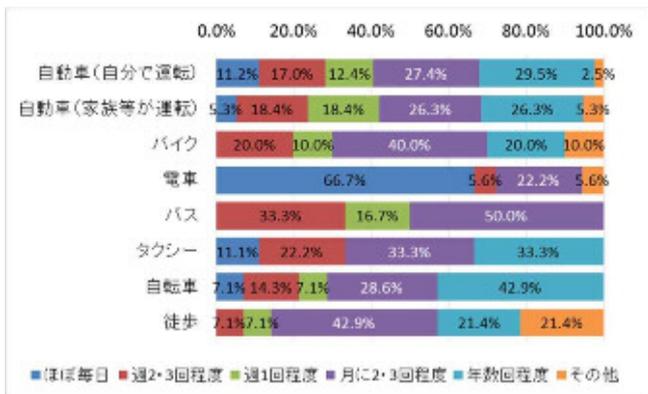
<×通勤・通学先 問5 >

西部地域、県内市外は比較的頻度の高い人が多い一方、その他の地域で働く人は、低頻度の利用が多くなっています。



<×日常交通手段 問6 >

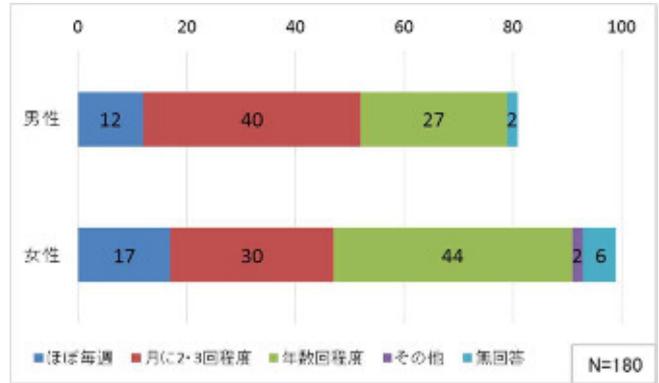
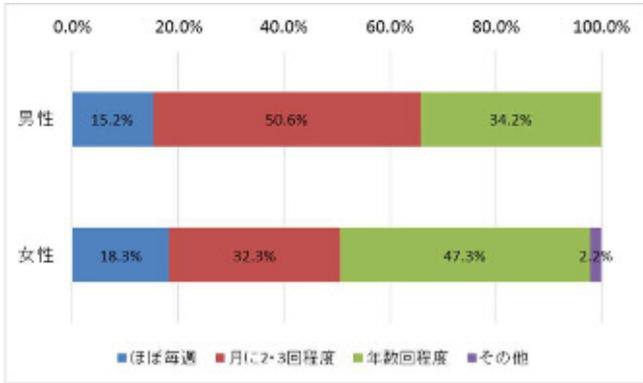
電車を利用する人の多くが「ほぼ毎日」利用していることが見てとれます。



(5) 休日の利用頻度 **問 11** × 回答者属性

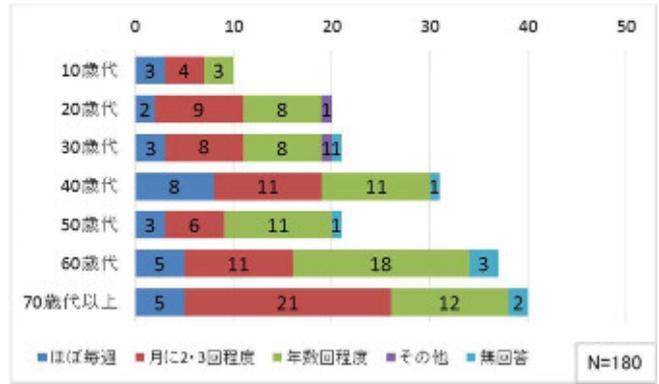
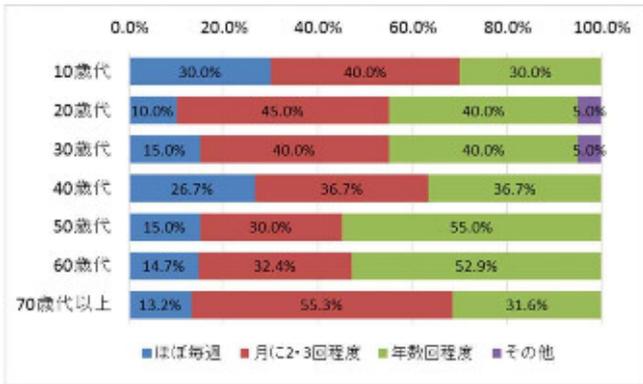
<×性別 **問 1** >

男女ともに「ほぼ毎週」、「月に2・3回程度」の高頻度の利用が多い一方、「年数回程度」の頻度が低い人は女性の方が若干多い傾向となっています。



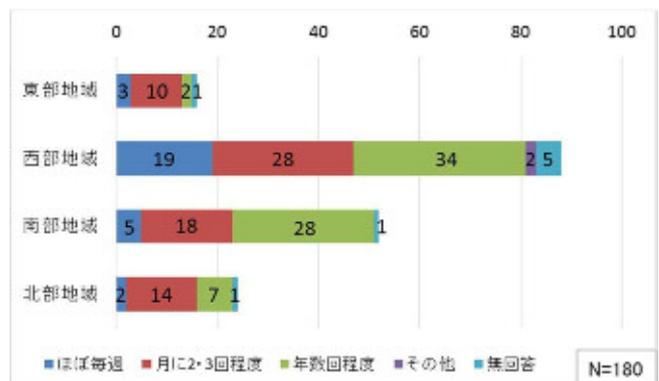
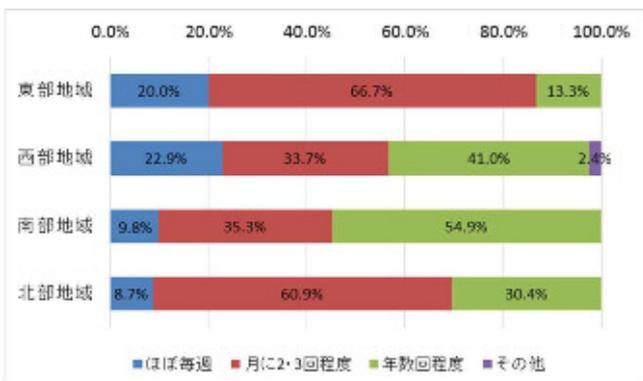
<×年齢 **問 2** >

全体的に高頻度利用が多く、その内「月に2・3回程度」の利用が多くなっています。



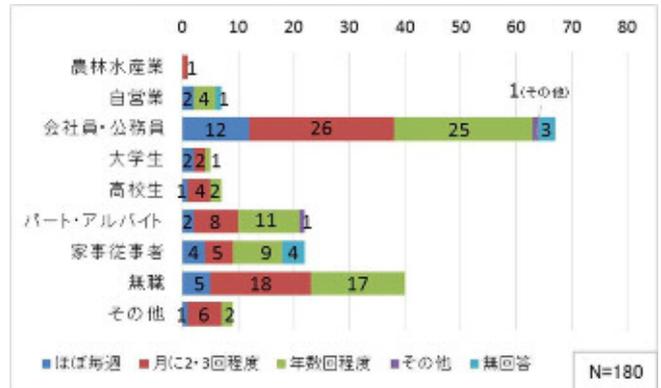
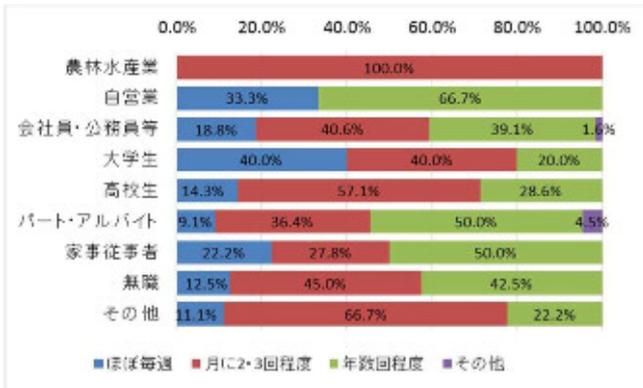
<×居住地区 **問 3** >

「東部地域」、「北部地域」は高頻度の利用が多い一方、「西部地域」、「南部地域」は低頻度の利用が多く、平日の利用頻度とは異なる傾向を示しています。



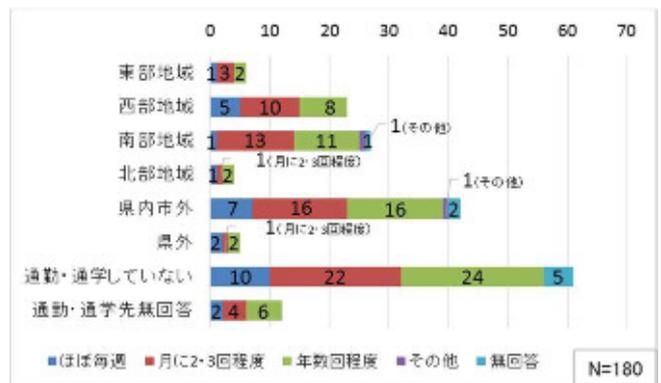
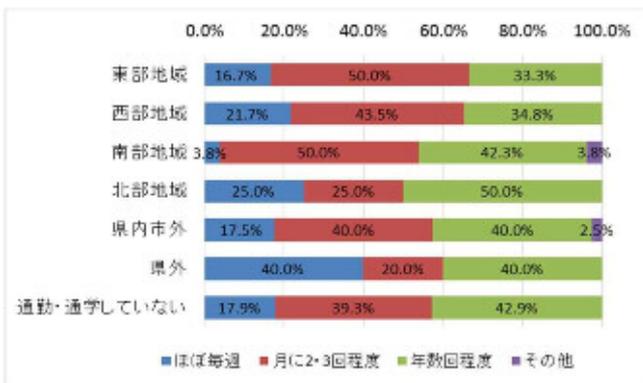
<×職業 問4 >

「大学生」、「高校生」は高頻度の利用の割合が約7割になっています。また、「会社員・公務員等」、「無職」も高頻度の利用が概ね5～6割となっています。



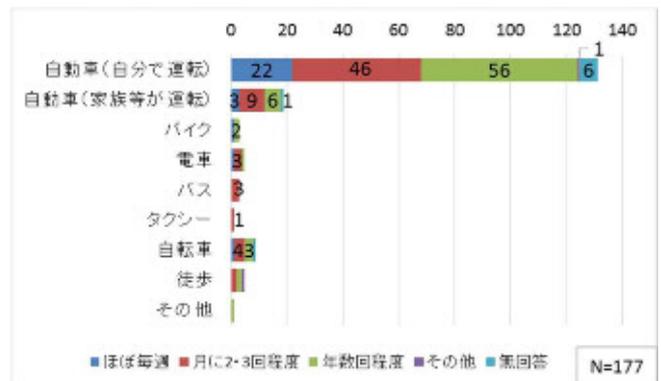
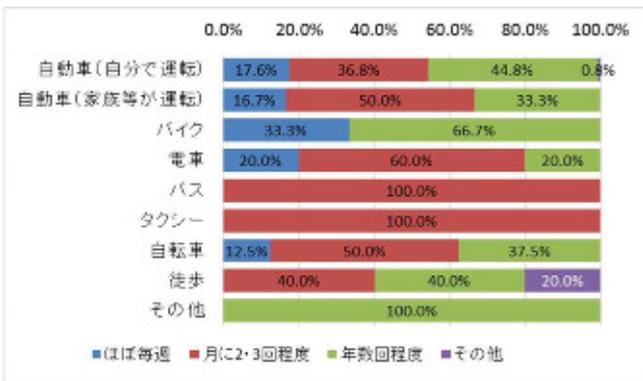
<×通勤・通学先 問5 >

地域により多少の前後はありますが、全体的に高頻度の利用と低頻度の利用が5割ずつになっています。



<×日常交通手段 問6 >

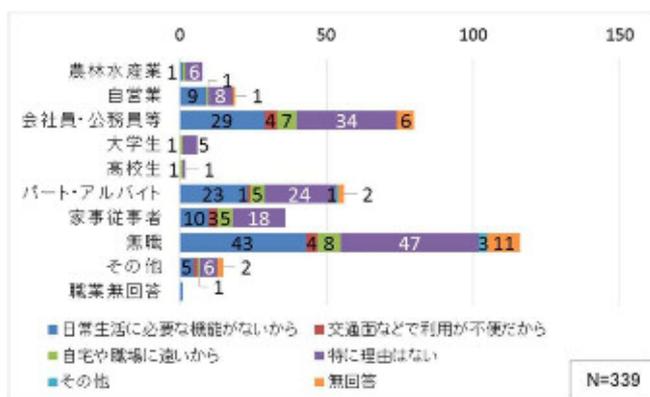
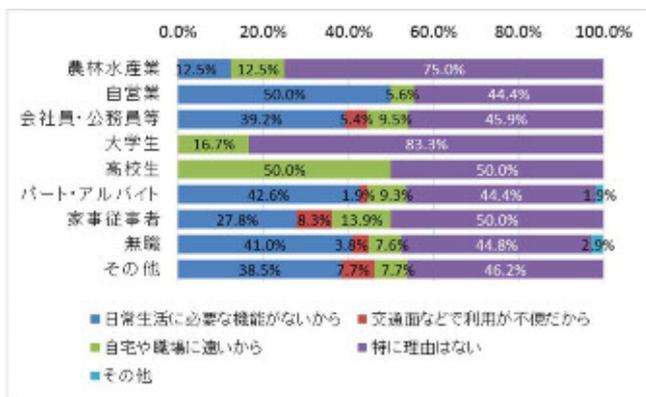
「ほぼ毎週」利用する人は「自動車（自分で運転、家族等が運転）」を交通手段とする人がほとんどを占めています。



(6) 本地区を利用しない理由 **問 12** × 回答者属性

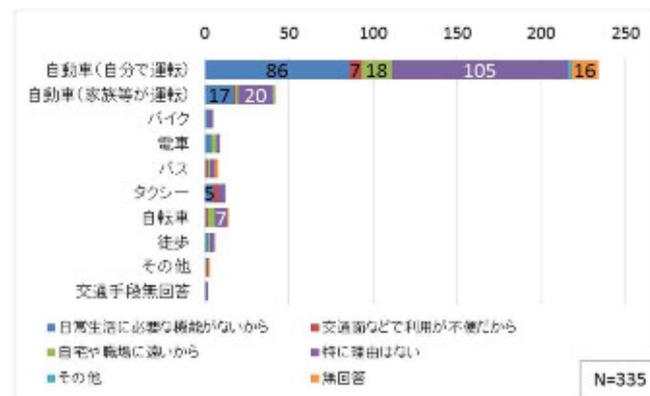
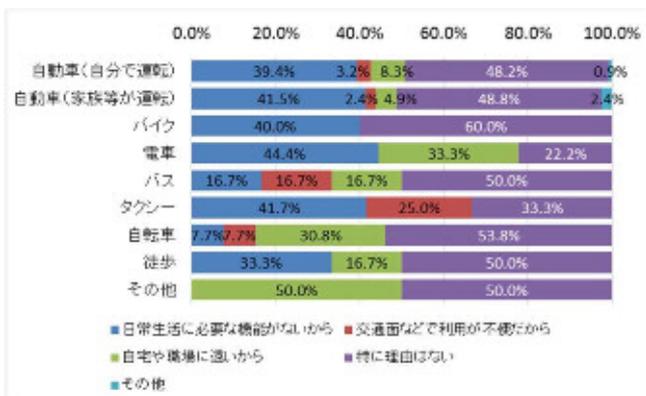
<×職業 **問 4**>

会社員・公務員等、家事従事者、無職は他の地域より「交通面などで利用が不便」、「自宅や職場に遠い」が多くなっています。



<×日常交通手段 **問 6**>

すべての交通手段において「特に理由がない」人が多くの割合を占めています。



(7) 本地区の問題点 **問 13** × 回答者属性

多くの項目で、「②商業施設や娯楽施設、観光交流施設など『にぎわい』が不十分なこと」が最重要な問題点として挙げられています。

また、居住地区では、西部地域が「①北口(虹ヶ丘)側からの駅の利用が不便なこと」、東部地域が「③公共施設や医療・福祉サービスなど生活に身近なサービス施設が不十分なこと」、南部地域が「⑤電車やバス、タクシーなどの交通の接続や利便性が不十分なこと」、北部地域が「⑧駐車場や駐輪場の整備(設備、受入台数など)」が不十分なこと」について、それぞれ他の地域と比較して高くなっています。

高校生や大学生は得票数自体は小さいですが、「⑥虹ヶ浜海岸に近接する魅力を生かしてきていない」ことはあまり問題と捉えておらず、「①」や「⑤」、「⑧」など、日常的な利用における問題点が挙げられています。

《割合》 ※空欄は「回答なし (=0.0%)」

		北口（虹ヶ丘）側からの駅と利用が不便なこと	商業施設や一にぎわいなど十分なこと	公共施設や医療・福祉サービスに身近なことが不十分なこと	設置の解消やエレベーター化などの不十分なこと	電車やバス、タクシーなどの交通の接続や利便性が不十分なこと	虹ヶ浜海岸に近接する魅力を生かされていないこと	ロータリーに通過車両が入るなど安全対策が不十分なこと	備、駐車場や駐輪場の整備（設備、受入台数など）が不十分なこと	マイカーの送迎スペースとタクシーの乗り場が混在していること	その他	無回答
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	-
性別	男性	9.2%	25.5%	6.5%	9.1%	7.2%	14.8%	3.7%	7.4%	11.9%	3.0%	1.9%
	女性	7.9%	25.9%	8.0%	12.6%	8.0%	11.3%	3.3%	6.8%	12.4%	2.3%	1.4%
年齢	10歳代	9.3%	22.7%		12.0%	12.0%	6.7%	9.3%	9.3%	13.3%	5.3%	
	20歳代	9.6%	28.9%	2.2%	13.3%	8.1%	11.1%	2.2%	9.6%	12.6%	2.2%	
	30歳代	8.5%	27.8%	6.6%	10.4%	7.1%	14.2%	3.3%	8.0%	10.8%	3.3%	
	40歳代	6.0%	29.3%	8.0%	9.2%	7.2%	13.7%	2.4%	8.8%	11.2%	2.8%	1.2%
	50歳代	6.1%	24.9%	5.7%	9.6%	9.6%	14.9%	5.0%	5.7%	14.6%	3.1%	0.8%
	60歳代	7.8%	26.7%	9.3%	9.3%	5.3%	14.6%	3.9%	6.2%	12.8%	2.7%	1.4%
	70歳代以上	10.1%	23.3%	8.4%	13.3%	8.3%	10.9%	2.7%	6.7%	11.4%	1.9%	3.1%
居住地区	東部地域	5.9%	26.9%	10.5%	7.6%	5.9%	15.5%	4.6%	8.4%	8.4%	2.9%	3.4%
	西部地域	12.0%	25.0%	7.0%	12.3%	5.0%	14.2%	3.8%	5.5%	12.0%	2.4%	0.8%
	南部地域	5.2%	25.8%	5.8%	11.8%	12.0%	10.3%	3.0%	7.0%	14.1%	2.9%	2.1%
	北部地域	7.1%	27.0%	9.5%	9.0%	7.6%	11.7%	2.2%	10.4%	11.4%	2.5%	1.6%
職業	農林水産業	8.0%	32.0%		12.0%	12.0%	12.0%		4.0%	8.0%		12.0%
	自営業	5.5%	28.1%	5.5%	10.9%	4.7%	18.0%		8.6%	15.6%	1.6%	1.6%
	会社員・公務員等	6.6%	28.0%	6.8%	9.0%	7.6%	14.2%	4.0%	7.8%	12.4%	3.0%	0.6%
	大学生	12.5%	18.8%		12.5%	21.9%	3.1%	6.3%	9.4%	12.5%	3.1%	
	高校生	10.6%	21.3%		12.8%	8.5%	8.5%	8.5%	12.8%	10.6%	6.4%	
	パート・アルバイト	5.5%	27.0%	6.6%	8.7%	8.0%	15.2%	4.5%	6.9%	13.5%	3.5%	0.7%
	家事従事者	9.4%	24.5%	9.4%	12.6%	7.9%	11.6%	3.1%	6.0%	12.6%	1.3%	1.6%
	無職	10.5%	24.6%	8.6%	12.3%	7.4%	11.9%	3.1%	6.3%	10.7%	2.3%	2.3%
	その他	8.0%	23.0%	8.0%	14.9%	6.9%	4.6%	2.3%	10.3%	13.8%	4.6%	3.4%
	通勤・通学先	東部地域	10.0%	22.5%	5.0%	15.0%	5.0%	12.5%		15.0%	10.0%	5.0%
西部地域	5.7%	28.2%	6.4%	9.6%	8.2%	16.4%	2.5%	5.4%	12.9%	2.9%	1.8%	
南部地域	5.7%	28.4%	7.4%	10.8%	8.5%	9.7%	3.4%	8.0%	14.2%	2.3%	1.7%	
北部地域	14.5%	25.5%	9.1%	9.1%	1.8%	16.4%		5.5%	5.5%	10.9%	1.8%	
県内市外	6.8%	25.2%	6.0%	7.9%	7.5%	13.9%	5.7%	9.1%	13.7%	4.0%	0.2%	
県外	5.1%	30.8%	5.1%	15.4%	12.8%	7.7%	2.6%	7.7%	10.3%	2.6%		
通勤・通学していない	10.1%	25.0%	8.7%	12.0%	7.6%	12.1%	3.3%	6.4%	11.5%	1.9%	1.4%	
日常交通手段	自動車(自分で運転)	8.5%	26.2%	6.7%	9.3%	7.0%	13.3%	3.7%	7.9%	13.7%	2.5%	1.3%
	自動車(家族等が運転)	8.6%	27.2%	9.9%	16.0%	7.0%	13.2%	1.6%	4.9%	7.8%	2.5%	1.2%
	バイク	5.9%	25.5%	15.7%	11.8%	11.8%	13.7%	3.9%	3.9%	5.9%		2.0%
	電車	10.0%	21.3%	8.8%	12.5%	8.8%	11.3%	5.0%	6.3%	11.3%	5.0%	
	バス	13.2%	26.3%	5.3%	15.8%	5.3%	13.2%		2.6%	5.3%	2.6%	10.5%
	タクシー	6.9%	24.1%	6.9%	22.4%	12.1%	5.2%	1.7%	3.4%	12.1%	1.7%	3.4%
	自転車	5.8%	27.9%	10.5%	10.5%	9.3%	11.6%	3.5%	4.7%	9.3%	4.7%	2.3%
	徒歩	11.6%	17.4%	7.2%	15.9%	13.0%	5.8%	2.9%	11.6%	7.2%	4.3%	2.9%
	その他		20.0%		10.0%	10.0%	20.0%	10.0%		20.0%		10.0%

《実数》 ※空欄は「回答なし (=0)」

		北口（虹ヶ丘）側からの駅との	商業施設や娯楽施設、観光交流施設などにぎわいなど十分なこと	公共施設や医療・福祉サービス施設が身近なこと	段差の解消やエレベーターの設置など、バリアフリー化が十分なこと	電車やバス、タクシーなどの交通の接続や利便性が十分なこと	虹ヶ浜海岸に近接する魅力を生かしていきれていないこと	ロータリーに進入する駅前の安全・安心の対策が十分なこと	いわゆる通過車両が駅前のロータリーに進入するなどの不安	備、駐車場や駐輪場の整備（設備、受入台数など）が十分なこと	マイカーの送迎スペースとバスターの乗り場が混在していること	その他	無回答
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	-	
性別	男性	82	228	58	81	64	132	33	66	106	27	17	
	女性	100	327	101	159	101	142	42	86	156	29	18	
年齢	10歳代	7	17		9	9	5	7	7	10	4		
	20歳代	13	39	3	18	11	15	3	13	17	3		
	30歳代	18	59	14	22	15	30	7	17	23	7		
	40歳代	15	73	20	23	18	34	6	22	28	7	3	
	50歳代	16	65	15	25	25	39	13	15	38	8	2	
	60歳代	38	130	45	45	26	71	19	30	62	13	7	
	70歳代以上	75	174	63	99	62	81	20	50	85	14	23	
居住地区	東部地域	14	64	25	18	14	37	11	20	20	7	8	
	西部地域	106	221	62	109	44	126	34	49	106	21	7	
	南部地域	34	170	38	78	79	68	20	46	93	19	14	
	北部地域	26	99	35	33	28	43	8	38	42	9	6	
職業	農林水産業	2	8		3	3	3		1	2		3	
	自営業	7	36	7	14	6	23		11	20	2	2	
	会社員・公務員等	33	140	34	45	38	71	20	39	62	15	3	
	大学生	4	6		4	7	1	2	3	4	1		
	高校生	5	10		6	4	4	4	6	5	3		
	パート・アルバイト	16	78	19	25	23	44	13	20	39	10	2	
	家事従事者	30	78	30	40	25	37	10	19	40	4	5	
	無職	77	180	63	90	54	87	23	46	78	17	17	
	その他	7	20	7	13	6	4	2	9	12	4	3	
通勤・通学先	東部地域	4	9	2	6	2	5		6	4	2		
	西部地域	16	79	18	27	23	46	7	15	36	8	5	
	南部地域	10	50	13	19	15	17	6	14	25	4	3	
	北部地域	8	14	5	5	1	9		3	3	6	1	
	県内市外	31	114	27	36	34	63	26	41	62	18	1	
	県外	2	12	2	6	5	3	1	3	4	1		
	通勤・通学していない	85	211	73	101	64	102	28	54	97	16	12	
日常交通手段	自動車(自分で運転)	127	392	100	140	105	199	56	118	205	37	20	
	自動車(家族等が運転)	21	66	24	39	17	32	4	12	19	6	3	
	バイク	3	13	8	6	6	7	2	2	3		1	
	電車	8	17	7	10	7	9	4	5	9	4		
	バス	5	10	2	6	2	5		1	2	1	4	
	タクシー	4	14	4	13	7	3	1	2	7	1	2	
	自転車	5	24	9	9	8	10	3	4	8	4	2	
	徒歩	8	12	5	11	9	4	2	8	5	3	2	
	その他		2		1	1	2	1		2		1	
参考	全体	182	557	160	242	167	275	75	154	264	56	35	

凡例：回答数上位5つの色分け： 第1 ⇒ 第2 ⇒ 第3 ⇒ 第4 ⇒ 第5